ネットワークボード
POA-MD13NET
取扱説明書

ネットワークボードの取り付けと操作のしかた

このネットワークボードはネットワークを介してプロジェクターの操作や設定を行うためのオプション製品です。この製品をプロジェクターへ装着しネットワークケーブルを接続します。ご使用のコンピュータからWebブラウザを使用し、接続されたネットワークボードにアクセスすることで、プロジェクターの操作や設定を遠隔操作で行うことができます。

本製品は脱着スロットを備えた当社プロジェクターでのみご使用になれます。プロジェクターによっては対応できないものもあります。ご使用についての詳細は取り扱い販売店にご相談ください。

この取扱説明書はネットワークボードの取り付け方と操作方法を記載しています。

はじめに

セットアップ

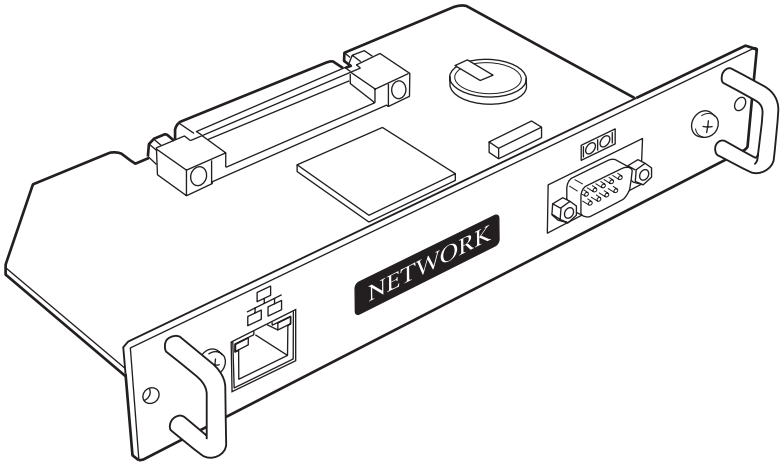
基本設定・操作

プロジェクターを管理する

複数のプロジェクターを管理する

シリアルポートを使用する

付録



安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は感電注意を意味します。）

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は分解禁止を意味します。）

電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

警　告

● 本製品を取り付け、使用する際は、必ずコンピュータメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

● 本製品の取り付け/ 取り外しをするときはコンピュータ、周辺機器の電源スイッチをOFF にし、電源プラグをAC コンセントから抜いてください。
電源プラグがコンセントに接続されたまま取り付け/ 取り外しを行うと、感電および故障の原因になります。

● 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。

● 煙が出たり変な臭いや音がしたら、プロジェクターおよび周辺機器の電源スイッチを切り、AC コンセントから電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

● 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因になります。

注　意

濡れた手で本製品に触れないでください。
コンピュータおよび周辺機器の電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因になることがあります。

日本語

ネットワークで使用する場合の安全上の注意

●プロジェクターより異常・警告メールを受信した場合、速やかにプロジェクターの点検を行ってください。異常のまま使用すると火災や事故の原因となる場合があります。

●ネットワークを利用し、プロジェクターを遠隔地に設置してご使用になるとき、定期的にプロジェクターの安全点検を行ってください。プロジェクターを遠隔地に設置する場合、設置する使用環境の変化について十分注意を払わなければなりません。設置した環境によっては、火災や事故の原因となります。

本製品使用上の注意

本製品の使用で生じるデータの破損・紛失、コンピュータの不具合など、コンピュータに生じる損害などについては一切当社では責任を負いません。

もくじ

はじめに 7

製品の概要 7
特長 7
動作環境 9
諸注意 10

セットアップ 11

セットアップの流れ 12
各部の名称とはたらき 13
〔1〕本製品の取り付け 14
〔2〕LANケーブルの接続 15
〔3〕ネットワークメニューの確認 16
〔4〕ネットワークの設定 17
プロジェクター本体でネットワークを設定する方法 18
コンピュータを使用してネットワークを設定する方法 20
コンピュータのネットワークを設定する 22
Windows 98/95/Me の場合 22
Windows 2000/NT4.0 の場合 23
Windows XP の場合 24
Macintosh の場合 25
システム構成での注意 26

基本操作・設定 27

プロジェクターの設定画面にログインする 28
1 IPアドレスを入力する 28
2 表示モードを選択しログインする 28
3 メイン設定画面の表示 29
初期設定をする 31
1 言語を設定する 31
2 パスワードを設定する 32
ネットワークの設定をする 33
1 ネットワークを設定する 33
2 プロジェクター名を設定する 33
E-Mailの設定をする 34
警告メールの種類と内容〔例〕 36

プロジェクターを管理する 37

プロジェクターの電源を入れる／切る 38
プロジェクターの状態を確認する 39
プロジェクターをコントロールする 40
入力 40
PC調整 41

日本語

SYSTEM調整 43
映像調整 44
音声調整 46
スクリーン調整 46
セッティング 47
タイマー設定のしかた 49
タイマーの確認をする 49
タイマー設定を解除する 50
サービス 51
保存 52
保存項目の確認 53
プロジェクターのメニューを操作する 55
メモをつける 56

複数のプロジェクターを管理する 57

マルチ制御 58
IPアドレス・プロジェクター名の登録 59
IPアドレス・プロジェクター名の確認 59
マルチ制御の対象から除外・追加・削除する 60
設定値の読み出しと適用 61
制御 61
複数のプロジェクターを同時にコントロールする 62

シリアルポートを使用する 63

シリアルポートの設定を行う 64
コントロール例 66
TELNETを使う 68
TELNET でプロジェクターをコントロールする 70

付録 71

接続例 72
ピア・ツー・ピア接続 72
ゲートウェイ（ルータ）を含む接続例 73
Web ブラウザの設定 74
アクティブスクリプト/JavaScript を有効にする 74
プロキシの設定 74
OS/ブラウザ個別設定例 75
Windows 95/98 の場合 75
Mac OS 9.2 の場合 79
製品仕様 83
ポート仕様 84
FAQ 85

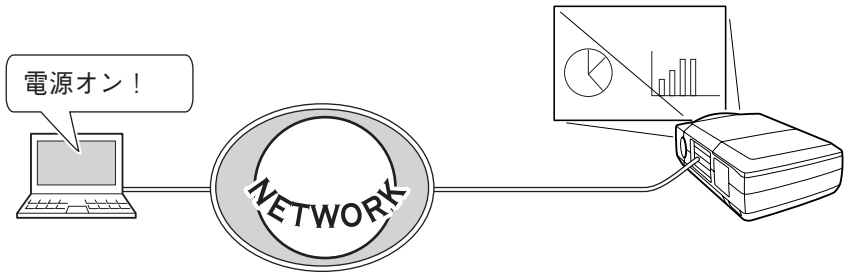
はじめに

製品の概要

特長

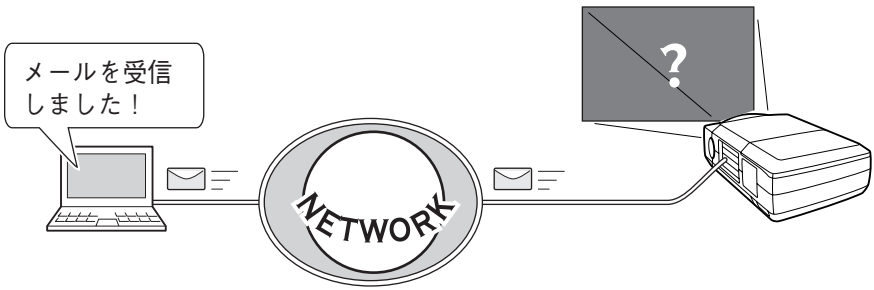
Webマネージメント機能

プロジェクターの状態確認や電源コントロールなどの操作、設定を、Webブラウザを使用してコンピュータから遠隔管理することができます。



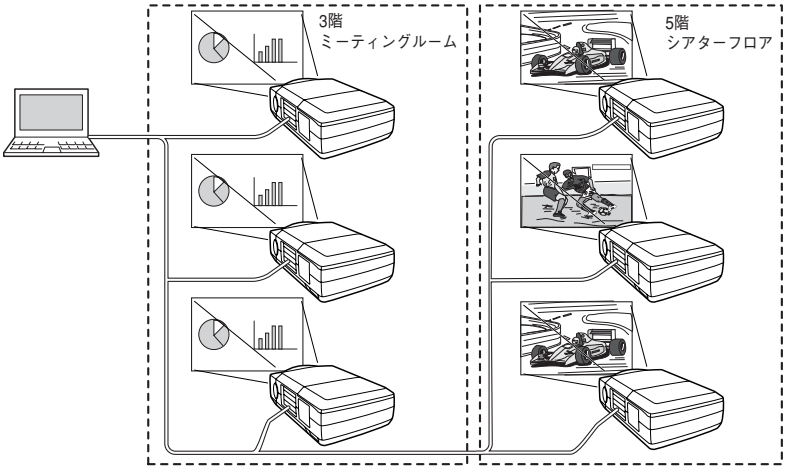
電子メールによる各種警告通知機能

プロジェクターにランプ点灯異常や、電源異常が発生したときになどに、指定されたアドレスに電子メールを自動的に送信します。メッセージには異常発生の原因などのアドバイスが記載されます。復帰までの迅速な対応が可能です。



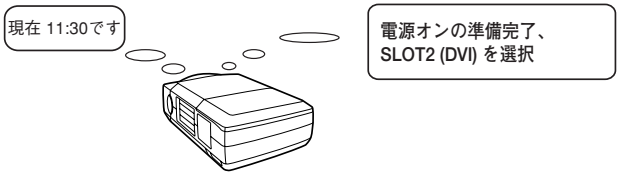
マルチコントロール機能

複数台のプロジェクターを一括してコントロールすることができます。



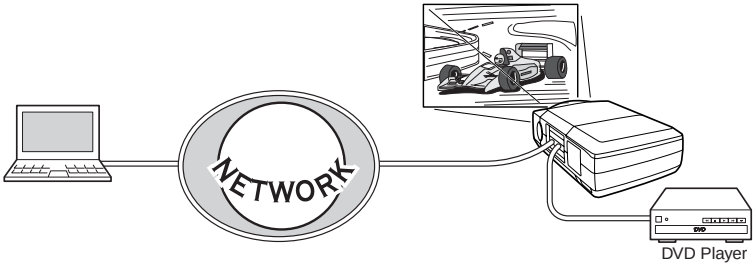
タイマー機能による自動ON/OFF機能

設定した日時、或いは曜日の時刻、にプロジェクターの自動起動、終了をおこないます。



ネットワークを介しての外部機器の制御ポートの用意

本製品は外部機器を制御するシリアルポート(RS-232C)を備えています。このポートにシリアルポートを持つ機器を接続することで、ネットワークを介してこれらの機器をコンピュータから操作することが可能です。*外部機器を操作するためのインターフェースドライバは本製品には含まれていません。



動作環境

本製品を使用してプロジェクターの設定や管理を行うには、以下のコンピュータ、ネットワーク環境、及びアプリケーションソフトウェアが必要です。

オペレーティングシステム

Windows 95 / Windows 98 / Windows 2000 / Windows Me / Windows NT4.0 / Windows XP
Mac OS 8.0 以降

ネットワーク環境

イーサーネットが正常に動作し、TCP/IP プロトコルが利用できること

コンピュータ環境

コンピュータが 10Base-T または 100Base-TX のネットワークカードを備えていること

Web ブラウザ*

・Internet Explorer バージョン 5.0 以上
・Netscape Navigator バージョン 4.7 以上

＊プロジェクターの各種設定・操作を行うときに使用します。ご使用するブラウザのバージョンやOS等によっては画面表示のレイアウトが異なる場合があります。

インターネット メーラー*

・Microsoft Outlook　　・Microsoft OutlookExpress
・Netscape Mail

＊本製品から送信される警告メッセージを受信するために、インターネットメーラーアプリケーションが必要です。推奨するメーラーは上記の通りです。これ以外のメーラーを使用する場合には、希に文字化けを起こすことがあります。E-mail機能を使用しない場合には、必要ありません。

本製品とハブ／コンピュータを接続する場合の制限事項*1

使用するケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

接続	使用するケーブルの種類	最長距離
本製品～ハブ間	カテゴリ*2 3 または 5 対応のUTPストレートケーブル	100m
本製品～コンピュータ間	カテゴリ*2 3 または 5 対応のUTPクロスケーブル	100m

ご注意

＊1 使用するネットワーク環境によっても、LAN規格上の制限があります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
＊2 ケーブルのカテゴリとは、ケーブルの品質を表すものです。通常、10Base-Tではカテゴリ 3 、またはカテゴリ 5 、100Base-TXではカテゴリ 5 のケーブルを使用します。

諸注意

表記／略称について

本書では、次のように表記している場合があります。

- Windows 95、Windows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XP、Windows NT4.0の総称 ➜ Windows
- Macintosh、Power Macintosh ➜ Macintosh
- Mac OS 8以降 ➜ Mac OS

本書の対象について

本書はコンピュータの操作、Webブラウザの操作、プロジェクターの操作、及び、ネットワークに関する基本的な操作および内容は記載していません。個々の機器、或いは、アプリケーションの操作方法については当該製品の取扱説明書をご覧ください。

商標について

Ethernet は Xerox 社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation 社の米国及び、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。Apple、Machintosh、Mac OS は米国 Apple Computer, Inc. 社の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。Netscape Navigator、Netscape Communicator は、Netscape Communications Corporation 社の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。JavaScript は Sun Microsystems, Inc.社の登録商標です。
説明書に記載の会社名、及び製品名は各国の登録商標または商標です。

＊本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
＊本書に記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1

セットアップ

セットアップの流れ

本製品をプロジェクターに取り付け、ネットワークに接続する手順を[1]〜[3]で説明します。全体の流れを理解してください。

1 パッケージを確認する (p.13)

梱包物を確認します。本製品には、ネットワークボード（本体）と取扱説明書（本書）、フェライトコア、及び取り付けネジ（2本）が含まれています。
各部の名称とはたらきを確認します

2 本製品の取り付け (p.14-16)

1．プロジェクターに本製品を取り付けます。
2．LANケーブルを接続し、ネットワークと接続します。
3．プロジェクターのメニューの中でネットワークメニューが利用できることを確認します

3 プロジェクターのネットワーク設定をする (p.17-26)

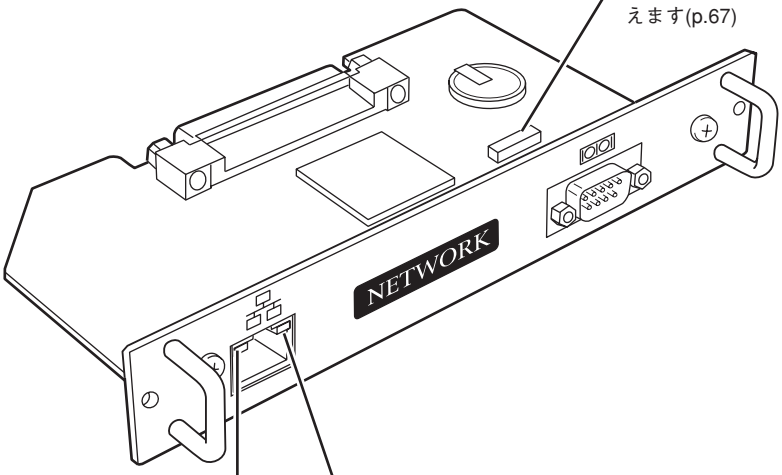
プロジェクターのネットワーク設定を行います。ご使用する環境に応じて設定します。

☛ プロジェクター本体でネットワークの設定を行う方法
☛ コンピュータを使用してネットワークの設定を行う方法

セットアップの完了

ネットワークに接続されたプロジェクターをコントロールする準備が完了しました。
次に、コンピュータにインストールされたWebブラウザを使用してプロジェクターの設定や操作を行います。
27ページ以降の「2: 基本設定・操作」編をご覧ください。

各部の名称とはたらき



シリアルポート切換ソケット
シリアルポートの極性を切り換えます(p.67)

LINK インジケータ（燈）
ネットワークに正常に接続されている場合に点灯します

ACT インジケータ（緑）
データの送受信時に点滅します

LAN ポート
LANケーブルを接続します
(p.15)

シリアルポート
外部機器をコントロールするときに使用します（p.63）

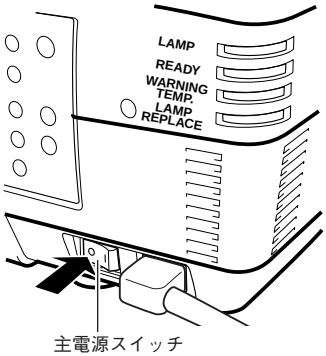
日本語

⚠ 注意

- コネクタには絶対に手をふれないでください、故障の原因となります。

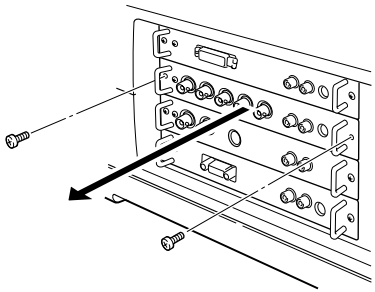
[1] 本製品の取り付け

1 プロジェクターの主電源スイッチを切る。



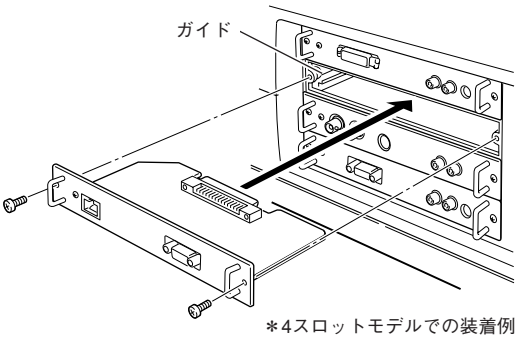
2 プロジェクターのスロット 1 ～ 4 * のいずれかのボードをネジ（2 本）を外し、本体から引き出す。

＊取り付けるプロジェクターによってスロット数は異なります。



3 スロットのガイドに合わせ本ボードを本体に差し込みます。ボードのコネクタがプロジェクター内部のソケットへしっかりはまるまで押し込みます。

4 付属のネジ（2 本）でボードを固定します。



＊4スロットモデルでの装着例

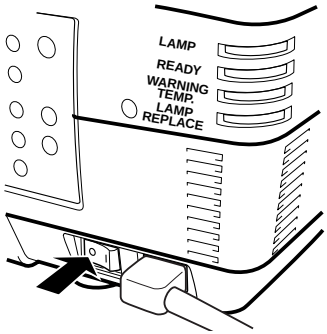
⚠ 注意

- 本製品の取り付けは必ずプロジェクターの主電源スイッチを切って行ってください。主電源スイッチが入ったままで、取り付け、取り外しは行わないでください。故障の原因になります。
- ネットワークボードを 2 枚以上装着しないでください。故障の原因になります。
- プロジェクターの電源はLANケーブルやコンピュータを接続した後で入れてください。

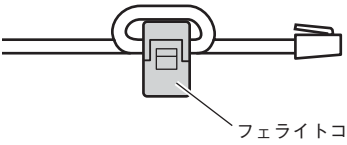
[2] LANケーブルの接続

ネットワークに接続するには、RJ-45コネクタの付いたUTP (Unshielded Twisted Pair) ストレートケーブルが必要です。ケーブルの種類は、接続するネットワークが10Base-Tまたは 100Base-TXのいずれであるかによって異なります。また、必要であれば、ケーブルを分配するハブ（10base-T、または100Base-TX対応品）を用意します。

1 プロジェクターの主電源スイッチを切る。

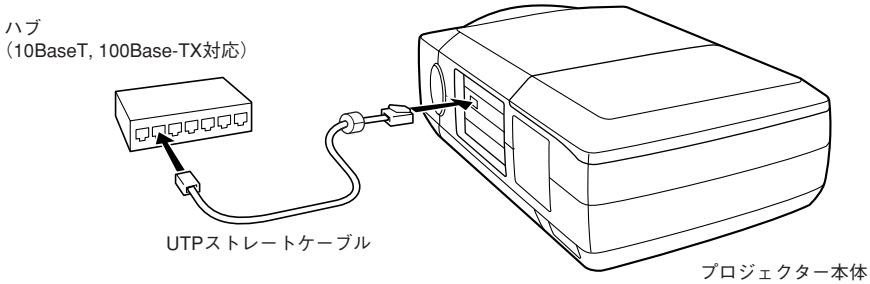


2 付属のフェライトコアにケーブルを１回巻き付け固定する。



3 UTPストレートケーブルをネットワークボードのコネクタに差し込む。

4 UTPストレートケーブルをハブに接続する。



ご注意

- ハブを使用しないで直接プロジェクターとコンピュータを接続する場合には、UTPクロスケーブルを使用します。
- 10Base-Tのネットワークに接続するときには、カテゴリー３または５のケーブルを使用します。100Base-TXのネットワークに接続するときには、カテゴリー５のケーブルを使用します。
- ハブからプロジェクターまでのケーブルは100ｍ以下で使用します。

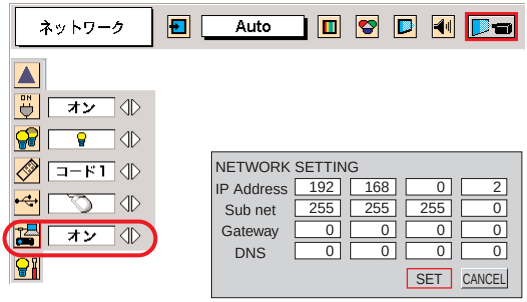
[3] ネットワークメニューの確認

本製品をプロジェクターに取り付けると、自動的に本製品用のメニュー項目が利用できるようになります。以下の手順によって、新しいメニュー項目が正常に利用できることをご確認下さい。もし、利用できない場合では、取り付けが正常に行われていない可能性があります。14ページの「本製品の取り付け」を確認してください。

プロジェクター本体の「POWER」ボタンを押し、画面を投映します。

ネットワーク設定メニュー [ネットワーク]

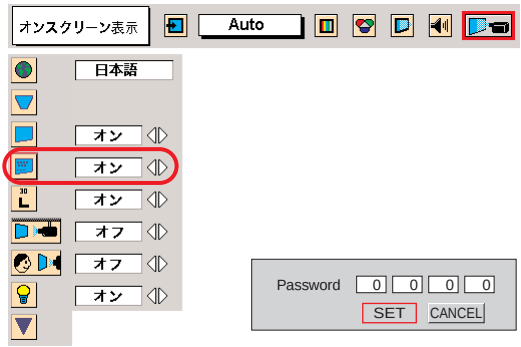
リモコンまたは本体のポインターボタンを使用し、メニュー項目から、セッティング／ネットワーク アイコンを選択し、「SELECT」ボタンを1回押します。設定が「オン」になっていることを確認します。もしなっていないなら、ポインター「◀ / ▶」を使って「オン」に切り換えます。
「SELECT」ボタンを押すと画面上に以下のようなネットワーク設定画面が表示されます。
詳細な設定方法については次項「[4] ネットワークの設定」で説明します。



＊ ご使用になるプロジェクターの機能によっては表示されるメニュー項目が異なります。

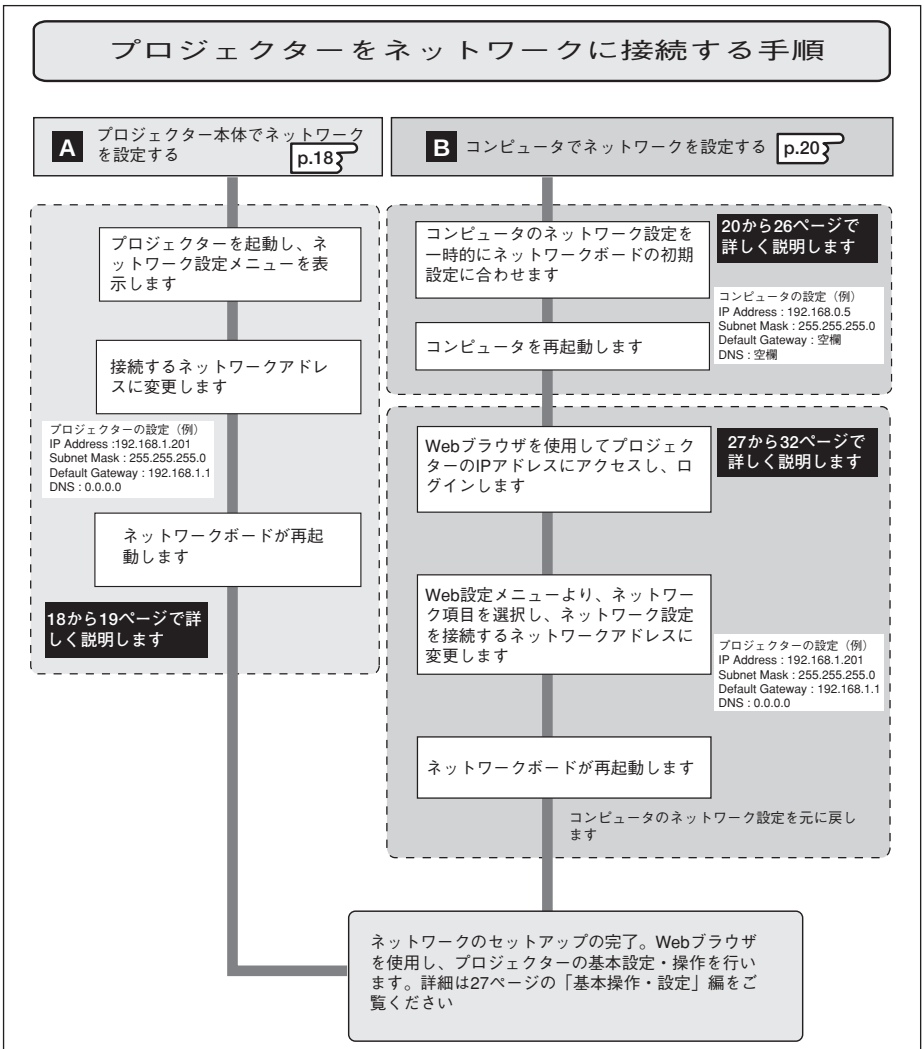
パスワード設定メニュー [オンスクリーン表示]

リモコンまたは本体のポインターボタンを使用し、メニュー項目から、セッティング／オンスクリーン表示アイコンを選択し、「SELECT」ボタンを2回押します。画面上にパスワード設定画面が表示されます。もし表示されない場合は、上記のネットワーク設定メニューがオフになっている可能性があります。
パスワードの設定方法については19ページの「パスワードの設定メニュー」で説明します。



[4] ネットワークの設定

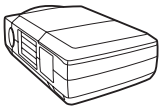
プロジェクターをネットワークに接続して使用する場合では、プロジェクターのネットワークアドレスは、接続するネットワークと同じでなければなりません。まず、プロジェクターのネットワークアドレスを設定します。
コンピュータが確実にネットワークに接続されていることを確認します。プロジェクターのネットワークを設定する方法は、**[A]プロジェクター本体で行う方法** と、**[B]コンピュータを使用して設定する方法** があります。以下のチャートを参照してネットワークの設定を行ってください。



A プロジェクター本体でネットワークを設定する方法

例えば次の設定を行う場合を説明します。

IP Address	: 192.168.1.201
Subnet	: 255.255.255.0
Gateway	: 192.168.1.1
DNS	: 0.0.0.0



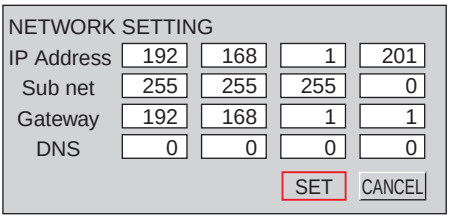
1 ネットワークメニューの選択 [ネットワーク]

プロジェクターを起動し、画面を投映します。メニュー項目のセッティング／ネットワークのアイコンを選択し、「SELECT」ボタンを押します。 モードが「オン」に設定されていることを確認します。もし「オフ」の場合には、ポインター「◀ / ▶」を押して「オン」に変更します。

＊ ご使用になるプロジェクターの機能によっては表示されるメニュー項目が異なります。

2 IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ*/DNS*の設定

「SELECT」ボタンを再度押します、以下のようなネットワーク設定画面がスクリーン上に表示されます。指定されたネットワークアドレスを入力します、例えば、以下のように設定します。



ご注意

＊ゲートウェイ（ルータ）を使用しないネットワーク環境では、デフォルトゲートウェイは [0.0.0.0] にします。E-Mail機能やDNSサーバーを使用しない場合には、DNSの項目も[0.0.0.0] に設定します。

数値の入力のしかた

リモコンまたはプロジェクター本体のポインター（▲ / ▼/◀ / ▶）を使用して、選択項目の移動と値の変更を行います。

◀ / ▶キーは選択項目の移動を行います

3 ネットワークボードの再起動

◀ / ▶キーを押し、[SET]を選択し、「SELECT」ボタンを押します。ネットワーク設定画面が消え、ネットワークボードが再起動*を始めます。約60秒ほどかかります。この期間にプロジェクターの主電源を切らないでください。

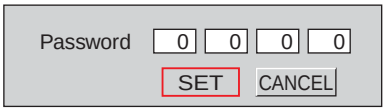
セットアップの完了

セットアップの完了です。プロジェクターのIPアドレスは（192.168.1.201）に設定されました。つづきまして、27ページ以降の『基本操作・設定』編の項目をご覧ください。プロジェクターの基本操作、設定について説明します。

パスワードの設定メニュー [オンスクリーン表示]

Webブラウザを通じてプロジェクターの設定ページへのアクセスを制限するためのパスワードを設定をすることができます。初期設定ではパスワードなし（0000）に設定されています。

プロジェクターのメニュー項目からセッティング／オンスクリーン表示 アイコンを選択し、「SELECT」ボタンを 2 回押します。以下の設定ウインドウが表示されます。パスワード設定画面に表示される数字は、現在設定されているパスワードです。変更する場合には、本体キーまたはリモコンのポインターを操作して、任意のパスワードを入力し、[SET]を選択して「SELECT」ボタンを押します。パスワード設定画面が消え、ネットワークボードが再起動*を始めます。約60秒ほどかかります。この期間にプロジェクターの主電源を切らないでください。



ご注意

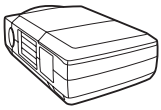
＊ ネットワークボードは、ネットワークアドレスやパスワードが変更され、[SET]を選択し「SELECT」ボタンが押されると自動的に再起動を始めます。この処理には約60秒ほどかかります。

- プロジェクターをネットワークに接続する場合には、パスワードを設定することをお勧めします。パスワードの設定は、プロジェクター本体のメニューからも可能ですが、Webブラウザを使用した設定画面でも設定可能です。詳細は32ページの「初期設定/パスワードを設定する」をご覧ください。
- パスワードに使用できる文字は、4 桁の半角数字です。
- このパスワードはプロジェクター本体の操作を制限するものではありません。このパスワードはネットワークを介してプロジェクターの状態確認・操作・設定を行うことに対してアクセス制限を設けるものです。

B コンピュータを使用してネットワークを設定する方法

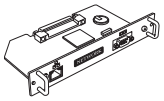
例えば次の設定を行う場合を説明します。

IP Address	: 192.168.1.201
Subnet	: 255.255.255.0
Gateway	: 192.168.1.1
DNS	: 0.0.0.0



工場出荷状態のネットワークボードは以下のように設定されています。

IP Address	: 192.168.0.2
Subnet	: 255.255.255.0
Gateway	: 0.0.0.0
DNS	: 0.0.0.0



（プロジェクターがネットワークに接続されていることを確認した上で、電源を入れます。）

1 コンピュータのネットワーク設定を一時的*1に本製品の工場出荷設定に合わせます。例えば以下のようにネットワーク設定を変更し、コンピュータを再起動します。

IP アドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	:（空欄）
DNS	:（空欄）

コンピュータのネットワーク設定は、ご使用のコンピュータとネットワーク環境によって異なります。詳細な手順については、次項目の『コンピュータのネットワークを設定する』を参照してください。

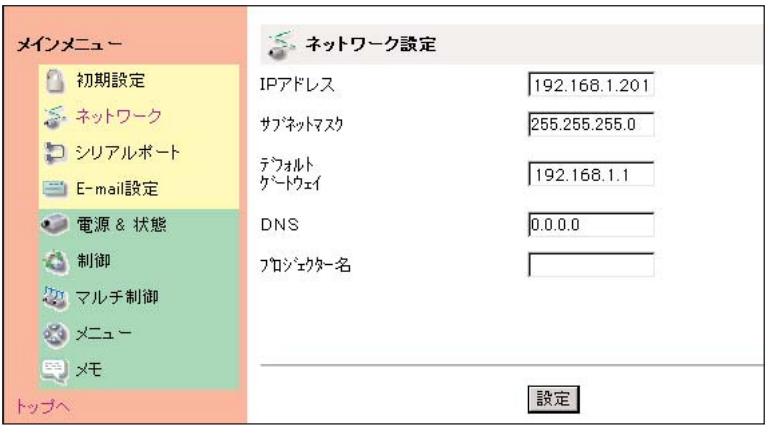
ご注意

*1 コンピュータのネットワーク設定を一時的に変更します。設定完了後、現在設定されているネットワーク設定に戻す必要があります。忘れないようにメモなどに書き留めておくことをお勧めします。

2 Webブラウザを使用してプロジェクターのネットワーク設定を行います。

1．**プロジェクターのIPアドレスにアクセスし、ログインします。**詳細な説明は27ページの「2 ：基本操作・設定」編をご覧ください。

2．**Web画面に表示された設定メニューよりネットワーク項目を設定します。**
詳細な設定方法は33ページの「ネットワークを設定する」で説明します。



セットアップの完了

セットアップの完了です。コンピュータのネットワーク設定を元の状態に戻して再起動します。

このあと、27ページ以降の『基本操作・設定』に従い、プロジェクターの基本操作、設定を行います。

ご注意

- ハブを使用しないで直接プロジェクターとコンピュータを接続する場合にはUTPクロスケーブルを使用します。この場合、Webブラウザの設定で、「プロキシサーバーを使用する」設定になっている場合には、ログイン画面にアクセスできません。設定を「プロキシサーバーを使用しない」に変更してください。詳細な設定方法については74ページの「Webブラウザの設定」で説明します。
- ネットワークボードが工場出荷の状態で、コンピュータを使用してプロジェクターのネットワークをセットアップする場合には、ゲートウェイ（ルータ）を含まないネットワーク環境で行う必要があります。ゲートウェイ（ルータ）を含むネットワーク環境でのセットアップは、プロジェクター本体からネットワークの設定を行ってください。

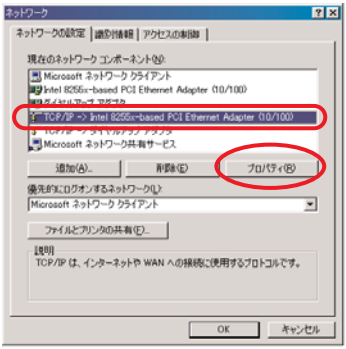
コンピュータのネットワークを設定する

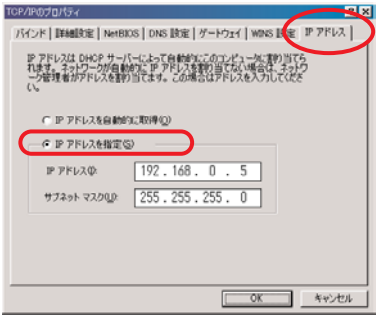
プロジェクターをネットワークに接続して使用する場合では、プロジェクターのネットワークアドレスは、接続するネットワークと同じでなければなりません。また、コントロールするコンピュータも同一ネットワークアドレスを使用する必要があります。但し、ゲートウェイ（ルータ）などを使用したネットワーク環境では、それぞれのネットワークアドレスは、ゲートウェイ（ルータ）が指定するネットワークアドレスを使用します。
以下の手順に従って、コンピュータのネットワーク設定を行ってください。

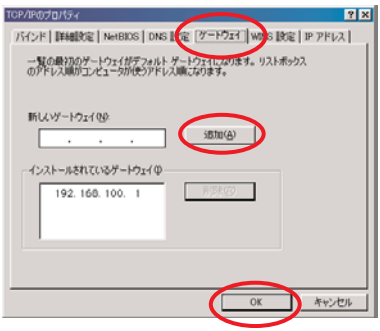
Windows 98/95/Me の場合

以下の設定をする場合を例に説明します。

IPアドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.100.1







1 [スタート] -> [設定] -> [コントロールパネル]を選択します。

2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

3 [ネットワーク]ダイアログボックスの「現在のネットワークコンポーネント」欄の[TCP/IP]*1を選択し、[プロパティ]をクリックします。

4 [IPアドレス]タブをクリックし、[IPアドレスを指定]を選択し、IPアドレス*2、サブネットマスクを入力します。

5 [ゲートウェイ]タブをクリックし、ゲートウェイアドレスを入力し、「追加」ボタンを押します。入力したゲートウェイアドレスが「インストールされているゲートウェイ」欄に表示されていることを確認します。

ゲートウェイ（ルータ）を使用しない小規模なネットワークでは、この設定は不要です。

6 「OK」ボタンを押し、ウインドウを閉じます。コンピュータを再起動します。

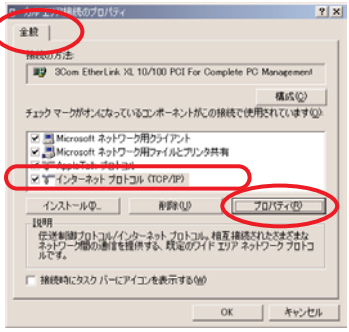
Windows 2000/NT4.0 の場合

以下の設定をする場合を例に説明します。

IPアドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.100.1

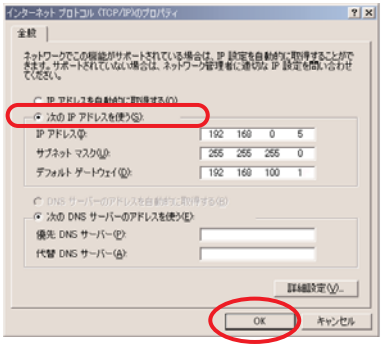
1 [スタート] -> [設定] -> [ネットワークとダイアルアップ接続]を選択します。

2 [ローカルエリア接続]アイコンを選択し、右クリックし、ポップアップメニューより[プロパティ]選択します。右のウインドウが表示されます。



3 [ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスの[全般]より、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]*1を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]ダイアログボックスより、[次のIPアドレスを使う]を選択し、IPアドレス*2、サブネットマスクを入力します。



5 デフォルトゲートウェイを入力します。

✎ ゲートウェイ（ルータ）を使用しない小規模なネットワークでは、この設定は不要です。

6 「OK」ボタンを押し、ウインドウを閉じます。

✎ 設定を変更するにはアドミニストレータ権限が必要です。

ご注意

*1 ご使用のコンピュータのネットワークカードのTCP/IP項目を選択します。もし、コンピュータにTCP/IPが表示されないときは、TCP/IPプロトコルをインストールしてください。詳細についてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。

*2 すでにTCP/IPプロトコルでネットワークを構築している場合では、同じネットワークアドレスのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

*3 コンピュータの環境によっては、上記手順は異なる場合があります。

Windows XP の場合

以下の設定をする場合を例に説明します。

IPアドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.100.1

1 [スタート] -> [コントロールパネル] を選択します。[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、次に、[ネットワーク接続]をクリックします。

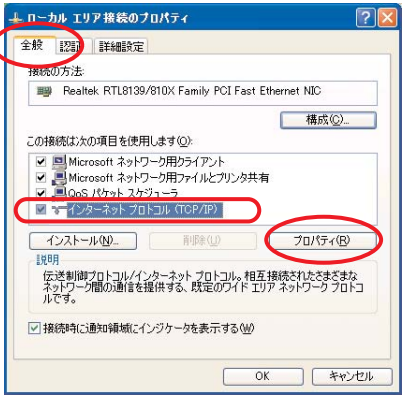
2 [ローカルエリア接続]アイコンを選択し、右クリックし[プロパティ]選択します。右のウインドウが表示されます。

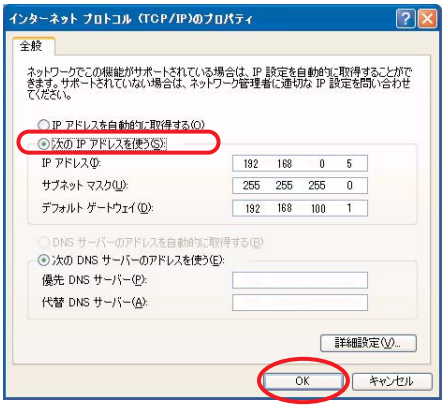
3 [ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスの[全般]タブを選択します。[インターネットプロトコル(TCP/IP)]*1を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]ダイアログボックスより、[次のIPアドレスを使う]を選択し、IPアドレス*2、サブネットマスクを入力します。

5 デフォルトゲートウェイを入力します。
- ゲートウェイ（ルータ）を使用しない小規模なネットワークでは、この設定は不要です。

6 「OK」ボタンを押し、ウインドウを閉じます。





ご注意

*1 ご使用のコンピュータのネットワークカードのTCP/IP項目を選択します。もし、コンピュータにTCP/IPが表示されないときは、TCP/IPプロトコルをインストールしてください。詳細についてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。

*2 すでにTCP/IPプロトコルでネットワークを構築している場合では、同じネットワークアドレスのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

*3 コンピュータの環境によっては、上記手順は異なる場合があります。

Macintosh の場合

以下の設定をする場合を例に説明します。

IPアドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.100.1

1 [アップル]メニュー -> [コントロールパネル] -> [TCP/IP]*1を選択します。

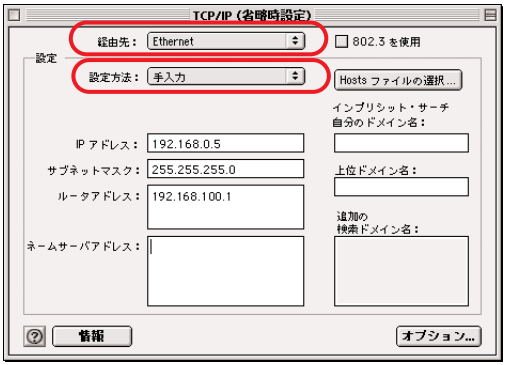
2 経由先を[Ethernet]、設定方法を[手入力]を選択します。

3 IPアドレス*2、サブネットマスクを入力します。

4 ルータアドレスを入力します。

ゲートウェイ（ルータ）を使用しない小規模なネットワークでは、この設定は不要です。

5 ウインドウを閉じ、設定を保存します。



ご注意

*1 もし、コンピュータにTCP/IPが表示されないときは、TCP/IPプロトコルをインストールしてください。詳細についてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。

*2 すでにTCP/IPプロトコルでネットワークを構築している場合では、同じネットワークアドレスのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

日本語

システム構成での注意

同じネットワーク内に複数台のネットワークボードを接続する場合

工場出荷状態のままの本製品を複数台、同じネットワーク内に接続しないようにしてください。ネットワークボード同士でIPアドレスが衝突し、動作不良の原因になります。
同じネットワーク内に複数台の本製品を接続するときは、以下の手順で設定を行ってください。

1. 本製品のIPアドレスを工場出荷状態から変更します。プロジェクター本体のネットワーク設定メニューを操作します。変更のしかたは17ページの「ネットワークの設定」を参照してください。
2. 設定したIPアドレスが他の機器と重ならないことを確認してから、ネットワークに接続します。
3. 2台目以降、上記手順でネットワークに接続する前にIPアドレスを変更し、ネットワークに接続します。）

DHCP/BOOTPサーバを使用するネットワーク環境でネットワークボードを接続する場合

本製品ははDHCP/BOOTPサーバーには対応していません。必ず手動にて固定IPアドレスを設定してください。
本製品に設定したIPアドレスを、DHCPサーバがネットワーク内の他の機器に割り振らないようにDHCPサーバーの設定を行ってください。詳しくはネットワーク管理者へ相談ください。

2

基本操作・設定

ここでは、本製品を使用してネットワークに接続されたプロジェクターを管理することに必要な基本の操作方法・設定方法について説明します。コンピュータとプロジェクターがネットワークに接続され、適切にネットワークの設定がされている必要があります。

プロジェクターの設定画面にログインする

1 IPアドレスを入力する

Webブラウザを起動し、「アドレス」にネットワークボードのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

IPアドレスは17ページの『ネットワークの設定』で設定したアドレスを入力します。工場出荷状態のIPアドレスは192.168.0.2です。

2 表示モードを選択しログインする

以下のグラフィック表示モードとテキスト表示モードが用意されています。ご使用の環境に合わせて適切なモードをクリックして選択してください。

グラフィックモード 600 x 400 ドット表示、メニューや設定項目をグラフィックアイコンで表示します。通常はこのモードを選択します。

テキストモード 200 x 300 ドット表示、PDA 等の携帯用PCでの表示に最適化しています。また、ネットワークが遅いときに使用すると便利です。

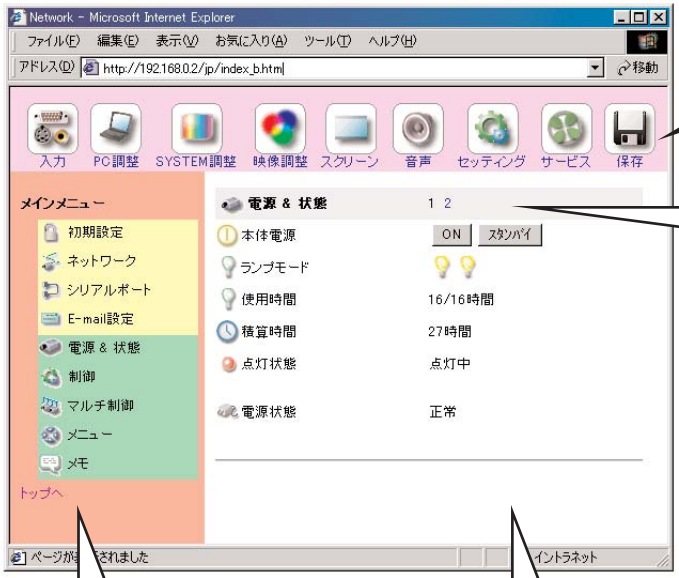
設定画面にパスワードが設定されている場合には、パスワード認証ウインドウが表示されますので、「ユーザー名：user」、パスワードを入力し、「OK」ボタンを押します。
＊ユーザ名は必ず「user」を入力します。

[ご注意]
初めてプロジェクターにアクセスした場合や、パスワードをなし [0000] に設定している場合では、この認証ウインドウはスキップされ、次のメイン設定画面が表示されます。

3 メイン設定画面の表示

選択した表示モードに応じて、以下のようにプロジェクターのメイン設定画面が表示されます。この画面から各種設定を行います。各種リンク項目をクリックし操作・設定画面を表示します。

1 グラフィックモードでのメイン設定画面



制御サブメニュー
プロジェクターのコントロールや各種設定用のサブメニューです

設定ページ番号
リンクされた番号をクリックしてページを切り替えます

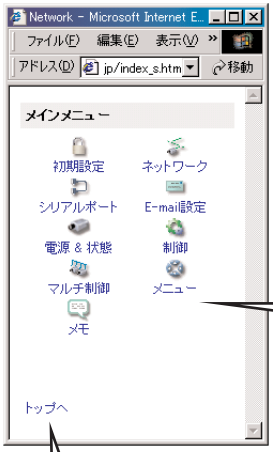
メインメニュー
プロジェクターの各種設定やコントロール項目を選択するメインメニューです。
37ページ以降で説明します

設定画面
選択したメニューに対するコントロール項目や状態項目が表示されます。
最初の画面は「電源＆状態」が表示されます

＊本説明書ではこのグラフィックモードを使用した設定・コントロール方法の操作説明をおこないます。

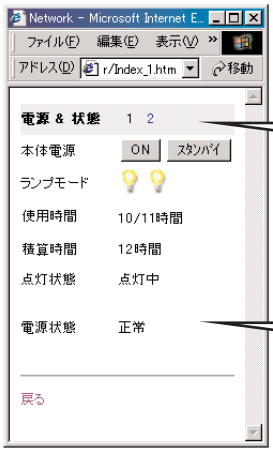
日本語

2 テキストモードでのメイン設定画面



メインメニュー
プロジェクターの各種設定やコントロール項目を選択するメインメニューです。クリックすると選択項目のサブメニューや状態項目が表示されます

表示モード設定ページに戻ります



設定ページ番号
リンクされた番号をクリックしてページを切り替えます

設定画面
選択したメニュー項目の設定項目、プロジェクターの状態、等が表示されます

初期設定をする

本製品をプロジェクターに取り付けネットワークに接続したら、以下の基本項目を設定します。

メイン設定画面の「初期設定」をクリックし、初期設定画面を表示します。
ここでは、言語、日付・時刻、パスワードを設定します。また、モデル名の欄には本製品が取り付けられているプロジェクターのモデル名が表示されます。

1 言語を設定する

Web画面の表示言語を選択します。プルダウンメニューから使用する言語メニューを選択し、「設定」ボタンを押します。英語と日本語で表示することが出来ます

ご注意

＊1 言語切り替えはWebブラウザのJavaScript機能を利用しています。もし、ブラウザの設定がJavaScriptを使用しない設定になっている場合、以下のような「設定」リンクテキストが表示されますので、テキストをクリックすると言語が切り換えられます。
ブラウザのJavaScriptの設定を変える方法はブラウザの種類やバージョンによって異なります。
詳しくは74ページ『付録：ブラウザの設定／アクティブスクリプト（JavaScriptを有効）にする」の項目をご覧ください。

2 パスワードを設定する

この画面では、Webブラウザを通じてプロジェクターの設定ページへのアクセスを制限するためのパスワードを設定します。パスワード入力エリアにパスワード（4桁の半角数字）を入力し、「設定」ボタンを押します。

「設定」ボタンを押すと、ネットワークボードは再起動を始めます。再起動の完了は約40秒かかります。一旦ブラウザを閉じ（終了し）、約40秒後に、再度ログイン画面にアクセスしてください。これは、パスワード認証を確実に行うためです。

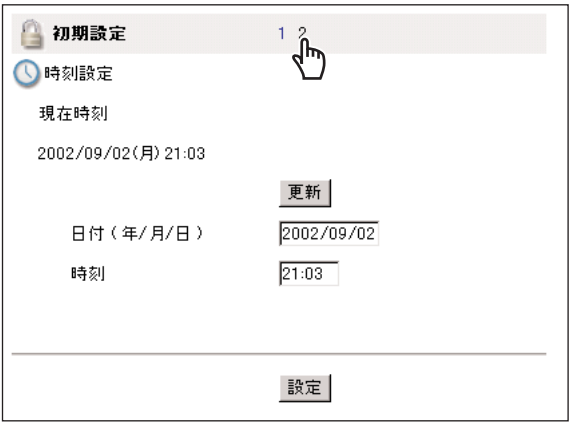
初期設定ではパスワードなしに設定されています。パスワード「0000」はパスワードなしを設定する番号です。通常は使用しないでください。
本製品をネットワークに接続する場合にはパスワードの設定を行うことをお勧めします。

メモ

プロジェクターに設定したパスワードを忘れてしまった場合、プロジェクター本体を操作し、セッティング/オンスクリーン表示メニューから確認することができます。詳細は19ページの「パスワード設定」を参照ください。

3 日付・時刻を設定する

ページ番号 [2] をクリックし、日付・時刻設定ページを表示します。



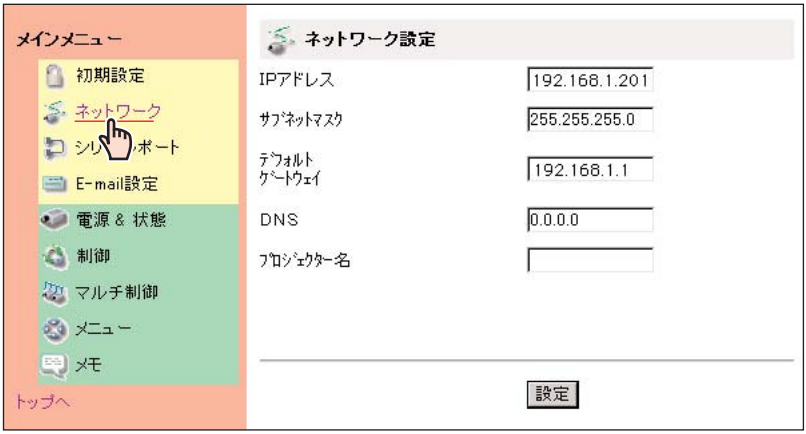
日付入力エリアに現在の日付を (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。時刻入力エリアに現在の時刻を 24時間形式の(HH:MM)で入力します。
「設定」ボタンを押して登録します。正しく登録されたことを確認します。画面上に表示される日付・時刻は自動的に更新しませんので「更新」ボタンを押して現在の日付・時刻を取得します。

⚠ 注意

電池について
本製品にはリチウム電池が使用されています。電池が切れた場合では、タイマー機能・時計機能は正常に動作しません。電池の交換のために、お買い上げ販売店に連絡してください。電池の交換は、認定されたサービスマン以外行うことは出来ません。

ネットワークの設定をする

メイン設定画面から「ネットワーク設定」をクリックします。以下の画面が表示されます。ここではプロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS、プロジェクター名を設定します。



1 ネットワークを設定する

IPアドレス、サブネットマスクは『セットアップ』編ですでに設定されています。変更する場合や、デフォルトゲートウェイ*1、DNS*2を設定する場合には、ここで設定します。各項目のアドレスを入力し、「設定」ボタンを押します。

「設定」ボタンを押すと、ネットワークボードは再起動を始めます。再起動の完了は約40秒かかります。一旦ブラウザを閉じ（終了し）、約40秒後に、再度ログイン画面にアクセスしてください。

アドレスはネットワーク管理者より指定された番号を使用ください。また、入力方法は以下のように、4つの数字のグループをドットで区切って入力します。

例：192.168.1.101

2 プロジェクター名を設定する

プロジェクターに名前*3を付けることができます。

DNSサーバーに適切に設定することで、Webブラウザから IPアドレスの代わりにこの名前でアクセスすることが可能です。詳しくはDNSサーバーを管理するネットワーク管理者にご相談ください。

ご注意

*1 ゲートウェイ（ルータ）を使用しないネットワークでは [0.0.0.0] に設定します。

*2 メール警告機能を利用しない場合には [0.0.0.0] に設定にします。

*3 プロジェクター名には日本語（2バイト文字）を使用しないでください。もし、DNSサーバーを使用する場合、DNSサーバーに登録したホスト名をプロジェクター名として登録してください。これにより、ネットワーク内のどのコンピュータからでもこのプロジェクター名でアクセスすることが可能です。DNSサーバーを利用しない場合では、IPアドレスを使用してアクセスします。

E-mailの設定をする

本製品は、プロジェクターに異常が発生したときやランプの交換時期がきたときなどに、管理者やユーザに異常や警告を知らせるE-mail機能を持っています。メイン設定画面から「E-mail設定」をクリックし、以下の手順に従って設定します。

1 E-mail アドレスを登録する

SMTPサーバー*1のアドレス、管理者の E-mail アドレスを入力し、「設定」ボタンを押します。管理者のアドレスはプロジェクターから送信されるメールの返信先アドレスとして設定されます。

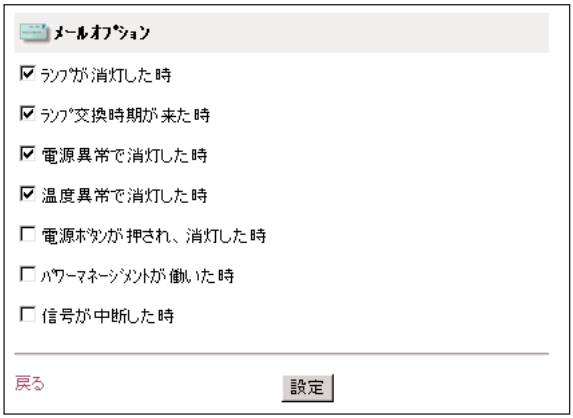
2 メール送信先の登録と削除

送信先追加に送信先のアドレスを入力し、「設定」ボタンを押します。
登録されたメールアドレスは「送信先確認・削除」のリンクテキストをクリックすると、リスト表示されますので確認します。

登録メールアドレスを削除するには、削除するメールアドレスのチェックボックスにチェックを入れ「削除」ボタンを押します。

3 警告メールを送信するオプション選択

「オプション」のリンクテキストをクリックします。警告メールを送信するオプション項目のチェックボックスにチェックを入れて「設定」ボタンを押します。



送信される警告メッセージについては次ページの「警告メールの種類と内容[例]」を参照ください。

ご注意

*1 SMTPサーバーとはメール送信用のサーバーのことです。設定するアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- E-mail機能を使用するには、ネットワーク設定のDNSアドレスが正しく設定されている必要があります。
- DNSサーバー、メールサーバーが利用できない環境では、このE-mail機能は使用できません。大規模なネットワークでは、LAN構内にSMTPサーバーを設置している場合があります、この場合、SMTPサーバーに設定するアドレスはLAN内に設置されているサーバーのアドレスを指定します。構内LAN以外のアドレスは利用できないことがあります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
- 送信先に登録できるメールアドレスの数は10個までです。

警告メールの種類と内容 [例]

プロジェクターに異常が発生すると、設定した条件に応じて、以下のような警告メールが送信先メールアドレスに送信されます。管理者はこのメールの内容によって必要な対応を素早くとることができ、プロジェクターの保守や補修に役に立ちます。
以下は受信するメールのメッセージ例です。

● 温度異常で消灯した時：

```
件名: プロジェクターからのメッセージ
2002/07/25 17:52
プロジェクターのモデル名: XF30
TCP/IP: 192.168.0.2　プロジェクター名: myProjector

より、以下のメッセージが届きました。

・プロジェクターの内部温度が高くなり、消灯しました。
　温度が下がる(warning temp.インジケーターが消える)まで待ってから、再点灯してください。
　再度インジケーターが点灯する場合は、エアフィルターが詰まっていないか確認してください。

[A]　36.5度 [B]　58.5度
センサー B が温度異常です
```

プロジェクター内部の温度センサー[A], [B] のどのセンサーが異常温度を検出して、プロジェクターが消灯したかをお知らせします。温度センサー[A], [B] の設置場所及び温度については39ページをご覧ください。また、具体的な対処方法につきましてはプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

● 電源異常で消灯した時：

```
件名: プロジェクターからのメッセージ
2002/07/25 17:52
プロジェクターのモデル名: XF30
TCP/IP: 192.168.0.2　プロジェクター名: myProjector

より、以下のメッセージが届きました。

・プロジェクターの電源異常により、消灯しました。
　プロジェクターの電源プラグを抜き、販売店に修理をご依頼ください。
　電源異常情報：FFFEFFFF
```

プロジェクターの電源に異常が発生しました。プロジェクターの電源プラグを抜き、販売店に電源異常情報 (FFFEFFFF)のコードを知らせ、修理をご依頼ください。

● ランプ交換時期が来た時：

```
件名: プロジェクターからのメッセージ
2002/07/25 17:52
プロジェクターのモデル名: XF30
TCP/IP: 192.168.0.2　プロジェクター名: myProjector

より、以下のメッセージが届きました。

・ランプ2の交換時期が来ています。
　ランプ 1　点灯　350時間
　ランプ 2　点灯　500時間
　ランプ 3　点灯　60時間
　ランプ 4　点灯　350時間
```

速やかにランプを交換し、ランプカウンターをリセットしてください。もし、カウンターをリセットしないままご使用になると、プロジェクターを起動するたびにメール警告が送信されます。E-Mail送信条件の「ランプ交換時期が来た時」のチェックを外すと警告メールは送信されません。

3

プロジェクターを管理する

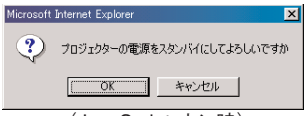
プロジェクターの電源を入れる／切る

メイン設定画面の「電源＆状態」メニューをクリックし、電源＆状態ページを表示します。

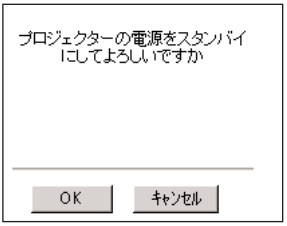
本体電源項目の「ON」、または「スタンバイ」ボタンを押すことで、プロジェクターの電源をコントロールします。「スタンバイ」ボタンを押したときは、確認のためのポップアップウインドウ*1が現れますので、スタンバイにするときは「OK」を押します。

ご注意

＊1 ポップアップウインドウはWebブラウザのJavaScript機能を利用しています。ブラウザの設定がJavaScriptを使用しない設定になっている場合では、ポップアップウインドウは表示されません。ブラウザのJavaScriptの設定を変える方法はブラウザの種類やバージョンによって異なります。詳しくは74ページ『付録：ブラウザの設定／アクティブスクリプト（JavaScriptを有効）にする」の項目をご覧ください。



（JavaScript オン時）



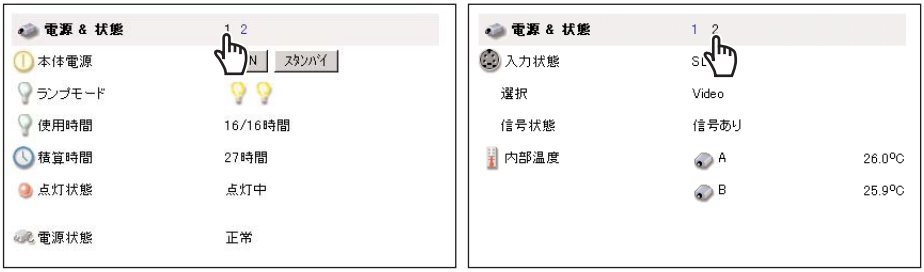
（JavaScript オフ時）

ご注意

- プロジェクターの電源を切った後、約90秒間は電源が入りません。点灯状態が「クーリング中」から「スタンバイ」になってから「ON」ボタンを押して、電源を入れてください。
- プロジェクター状態の確認は、20秒ごとに、Webブラウザによって自動的に行われます。

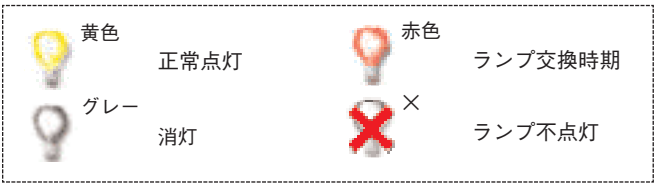
プロジェクターの状態を確認する

電源&状態画面では、プロジェクターの電源をコントロールする以外に、下表に記載する項目を確認することができます。電源&状態の 2 ページ目を表示するには、ページ番号 [2] をクリックします。



項目	説明

ランプモード..... 2 灯、 4 灯モード、及び状態を表示します
ランプ 1 ／ランプ 2 ／ランプ 3 ／ランプ 4 の順番で状態を表示します



使用時間 .....ランプの使用時間を 1 時間単位で表示します
ランプ 1 ／ランプ 2 ／ランプ 3 ／ランプ 4 の順番で表示します
積算時間 .....プロジェクターの積算使用時間を 1 時間単位で表示します
点灯状態 .....ランプの状態を表示します
電源状態 .....電源の動作状態を表示します
入力状態 .....選択しているスロットの番号を表示します
選択 .....選択している入力モードを表示します
信号状態 .....信号入力の状態を表示します
内部温度 .....内部温度センサーの測定温度を摂氏で表示します
画面中のA, B はプロジェクター内部の温度センサーを表します。測定温度が指定されたある温度を超えると、A, B の各アイコンは以下のような警告アイコンに変わり、異常温度上昇を知らせます。プロジェクター周辺の温度や、エアフィルタの目詰まり、吸気・排気ファン周辺を確認してください

アイコン[A], [B]は以下の場所の温度を表しています。
[A]: プロジェクター周辺温度*
[B]: プロジェクター内部温度

＊ プロジェクターの周辺温度は実際の周辺温度とは異なり、少し高めに表示されます。

プロジェクターをコントロールする

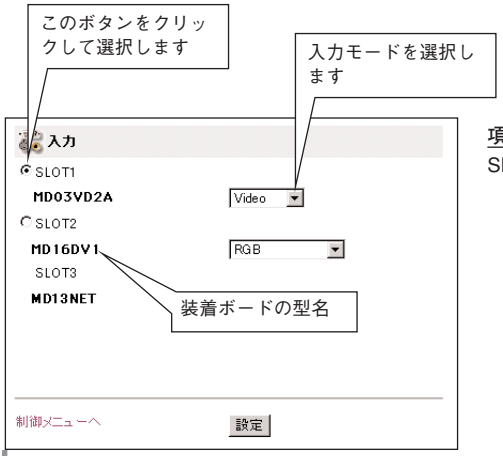
画面上部に制御サブメニューが表示されています。それぞれのアイコンをクリックすると設定画面が表示されます。
設定方法は各ページの内容によって異なります。設定項目は複数のページ に分けて表示されていますので、ページ番号のリンクテキストをクリックしてページを切り替えます。
＊設定項目についての詳細な情報は、プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- コントロールページは、選択している入力モード、或いは、ご使用になるプロジェクターの機能によって自動的に必要な設定項目を表示します。従い、画面の表示と説明項目が異なることがあります。また、入力信号によっては調整できない項目がある場合があります、詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。
- プロジェクターがスタンバイ状態の場合、コントロール項目に対する設定の変更はできません。ただし、タイマー設定は可能です。

入力

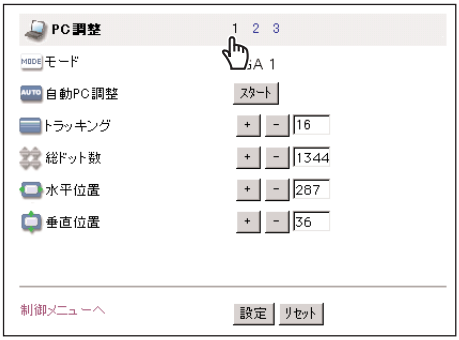
この画面では、入力スロットとモードの選択を行います。プロジェクターの入力スロットをラジオボタンで選択し、入力信号モードをプルダウンメニューから選択します。「設定」ボタンを押して切り替えます。スロットに装着するボードの種類によって表示項目は異なります。また、プロジェクターのモデルによって、スロットの数は異なります。



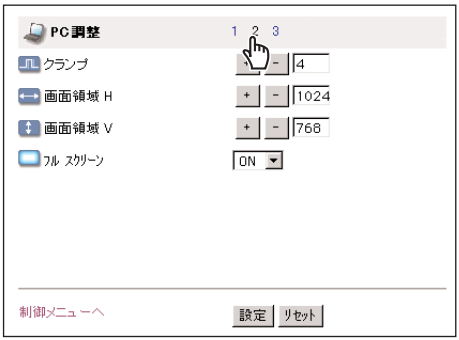
項目	説明
SLOT	プロジェクターのスロット番号と装着しているボードのモデル名を表示します。設定項目は装着するボードによって異なります

PC調整

この画面では、プロジェクターに接続されたコンピュータからの信号を、最適にスクリーン上に投映する調整を行います。設定画面のページはページ番号をクリックして切り替えます。



項目	説明
モード	コンピュータのモードを表示します
自動PC調整	自動調整をおこないます
トラッキング	トラッキングの調整をします
総ドット数	水平期間の総ドット数の調整をします
水平位置	水平画像位置の調整をします
垂直位置	垂直画像位置の調整をします



項目	説明
クランプ	画像のクランプ位置を調整します
画像領域H	水平画像の領域を調整します
画像領域V	垂直画像の領域を調整します
フル スクリーン	スクリーン全面に表示します

メモ

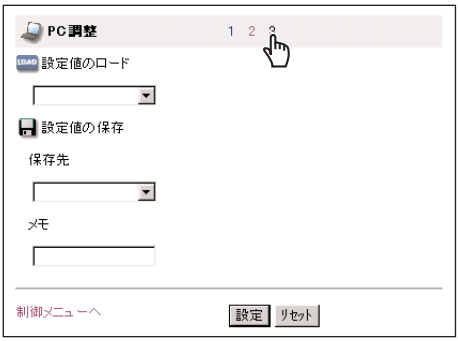
PC調整はアナログコンピュータ入力時のみ設定項目が表示されます。

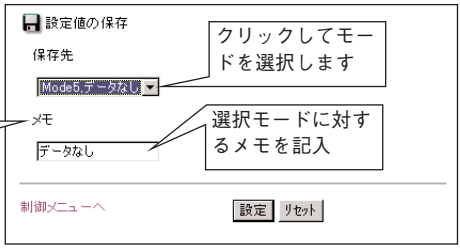
PC調整値を保存する

1 PC調整ページ〔1〕～〔2〕でお好みのPC調整値を決定します。

2 調整ページ〔3〕を表示し、「調整値の保存：保存先」のプルダウンメニューから保存したいモード番号を選択します。メモ欄に選択モードの簡単な説明を記入します。

3 「設定」ボタンを押して登録します。調整値を元の状態に戻したい場合には、「リセット」ボタンを押します。

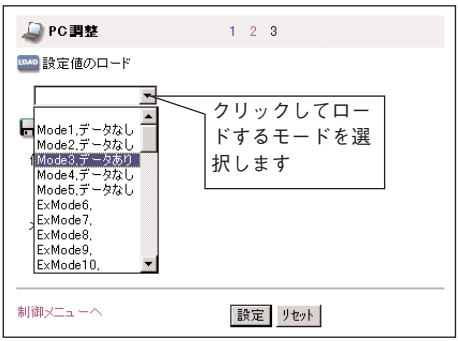




Mode1からMode5に対するメモは、「データあり」または「データなし」のいずれかで表示されます。ExMode6からExMode50に対するメモは、入力した文字を保存することが可能です

PC調整値を呼び出す

設定値のロードのプルダウンメニューから、呼び出したい設定値を選択し、「設定」ボタンを押します。保存されている設定値が適用されます。



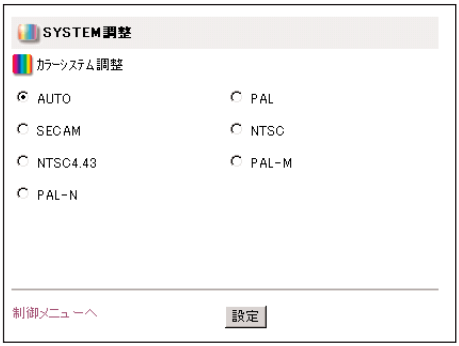
メモ

- PC調整値はMode1からMode5、及びExMode6からExMode50 の50セット保存可能です。

SYSTEM調整

この画面では、プロジェクターに入力する映像信号のカラーシステムや走査方式を選択します。入力信号のカラーシステムまたは走査方式に合わせてラジオボタンを押して選択し、「設定」ボタンを押します。入力モードにより、設定項目が切り替わります。

VIDEO/S-VIDEO入力時の設定項目



項目	説明
カラーシステム調整	ビデオ信号のカラーシステムを選択します
AUTO	入力信号のカラーシステムに自動で対応します

Y, Cb/Pb, Cr/Pr入力時の設定項目

項目	説明
システム調整	コンポーネント信号の走査方式を選択します
AUTO	入力信号の走査方式に自動で対応します

メモ

- 日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く「AUTO」を選択してもシステムが自動で選択できない時は、「NTSC」を選んでください。
- SYSTEM調整はビデオ（ビデオ／コンポーネント）信号入力時のみ、設定項目が表示されます

映像調整

この画面では、プロジェクターのイメージ調整と設定を行います。イメージモードの選択は、プルダウンメニューから希望するイメージモードを選択し、「設定」ボタンを押します。設定項目はPC入力とビデオ入力とで自動的に切り変わります。また、各々の設定の変更はページ毎に「設定」ボタンを押します。「リセット」ボタンを押すと、全てのページの項目がリセットされます。

項目	説明
映像調整	標準、リアル、シネマ、イメージ１～４をプルダウンメニューから選択します。イメージ１～４はユーザ設定項目です
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾓｰﾄﾞ	映像調整の基本となる映像調整ﾓｰﾄﾞを表示します
調整項目	コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合いを調整します

項目	説明
ﾎﾜｲﾄﾊﾞﾗﾝｽ	
色温度	色温度を設定します
赤・緑・青	ホワイトバランスを調整します

項目	説明
画質	画質を調整します
ガンマ補正	暗部の明るさを調整します
ﾉｲｽﾞﾘﾀﾞｸｼｮﾝ	ﾉｲｽﾞﾘﾀﾞｸｼｮﾝを切り替えます
ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ	ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞﾓｰﾄﾞを切り替えます
調整値保存	映像調整の設定値を保存するモードを選択します

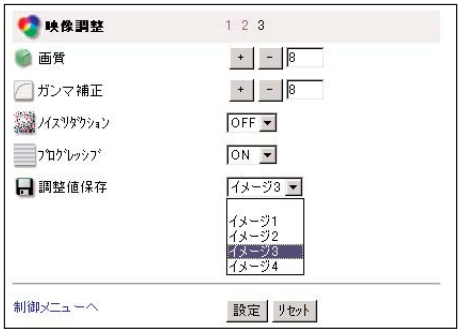
＊ ご使用になるプロジェクターの機能、及び、選択している入力モードによって表示される調整項目が異なります。

映像調整値を保存する

1 映像調整ページ〔1〕～〔3〕でお好みの映像調整値を決定します。

2 調整ページ〔3〕を表示し、調整値保存のプルダウンメニューから保存したいイメージ番号を選択します。

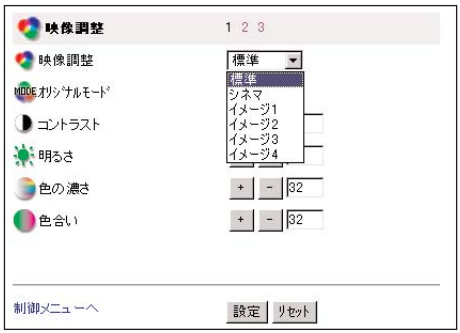
3 「設定」ボタンを押して登録します。
調整値を元の状態に戻したい場合には、「リセット」ボタンを押します。



「イメージ１～４」はユーザ設定した映像設定値を保存するためのモードです。
「オリジナルモード」とは、ユーザー設定項目「イメージ１～４」がどのモードを基本に設定されたかを表します。

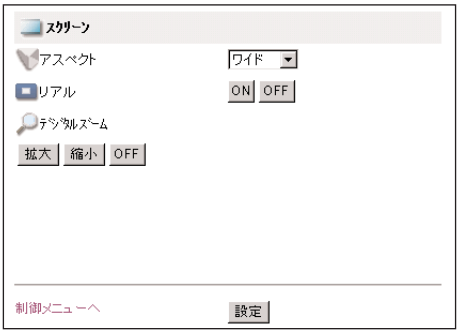
映像調整値を呼び出す

調整ページ〔1〕を表示し、映像調整プルダウンメニューから、モードを選択し「設定」ボタンを押します。



スクリーン調整

この画面では、プロジェクターのスクリーンモードの選択を行います。設定項目はPC入力とビデオ入力とで自動的に切り変わります。

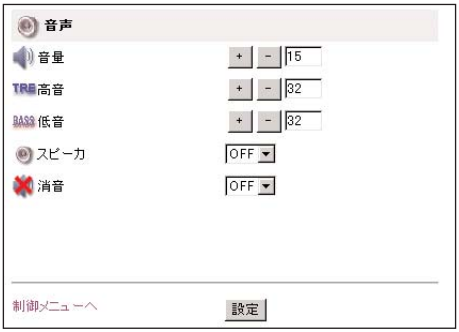


項目	説明
アスペクト	スクリーンの投映モードを切り換えます
リアル*	画像の投映を切り換えます
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾞｰﾑ*	画像の拡大、縮小、またはズームなしを設定します

＊ PC入力の場合のみの設定メニューです。

音声調整

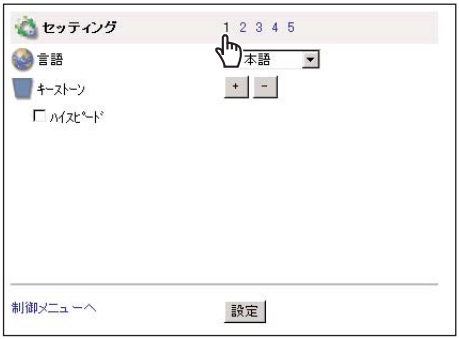
この画面では、プロジェクターの音声の調整を行います。各テキストボックスの値は現在の設定値を表します。



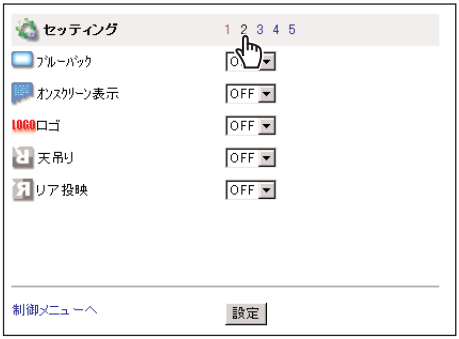
項目	説明
音量	内蔵スピーカの音量を調整します
高音	高音域を調整します
低音	低音域を調整します
スピーカ	スピーカからの出力を切り換えます
消音	スピーカからの出力を一時的に消します

セッティング

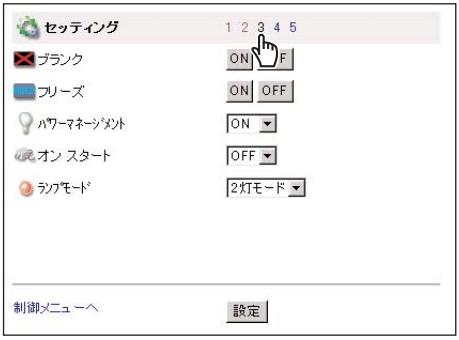
この画面では、プロジェクターのセットアップを行います。設定ページ番号〔1〕～〔5〕のリンクテキストをクリックしてページを切り替えます。必要に応じて「設定」ボタンを押します。



項目	説明
言語	プロジェクターのメニュー言語を切り換えます
ｷｰｽﾄｰﾝ	投映画像の台形ひずみを補正します。「ハイスピード」にチェックを入れると変化が早くなります

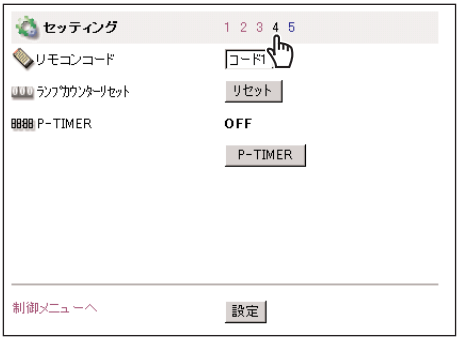


項目	説明
ﾌﾞﾙｰﾊﾞｯｸ	無信号入力時にﾌﾞﾙｰの画面を出す、出さないを設定します
ｵﾝｽｸﾘｰﾝ表示	メニュー画像を投映する、しないを設定します
ロゴ	電源起動時にロゴを表示する、しないを設定します
天吊り	画像の上下左右を反転して映します
リア投映	画像の左右を反転して映します

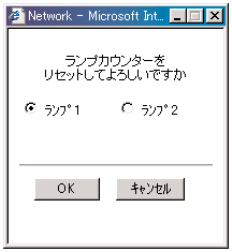


項目	説明
ブランク	画像を一時的に消します
フリーズ	画像を一時的に静止させます
ﾊﾟﾜｰﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ	入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が5分30秒続くと、ランプを消灯します
オン スタート	主電源を入れると、画像を投映します
ﾗﾝﾌﾟﾓｰﾄﾞ	ランプの1灯／2灯モード、または2灯／4灯モードを切り換えます

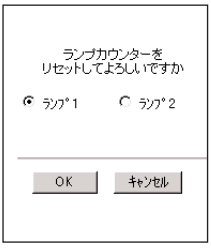
＊ ご使用になるプロジェクターの機能によっては表示される項目が異なります。



項目	説明
ﾘﾓｺﾝｺｰﾄﾞ	2種類のリモコンコードを設定することができます
ﾗﾝﾌﾟｶｳﾝﾀｰﾘｾｯﾄ	ランプカウンターをリセットするメニューです。光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。（詳細は以下で説明します）
P-TIMER	投映画面上にタイマーが表示されます。ページ上には“ON”-“STOP”-“OFF”と表示されます



（JavaScript オン時）



（JavaScript オフ時）

＊2灯式モデルの例

ランプカウンターリセットについて

ﾗﾝﾌﾟｶｳﾝﾀｰﾘｾｯﾄの「リセット」ボタンを押すと、左のような、確認ウインドウが表示されます。リセットするランプカウンターをラジオボタンで選択し、「OK」ボタンを押します。

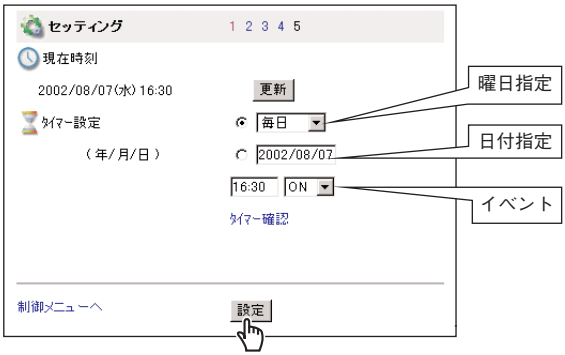
項目	説明
現在時刻	プロジェクターに設定されている現在時刻を表示します
ﾀｲﾏｰ設定	決められた日時、時刻にプロジェクターの電源を入れたり、切ったりする機能です。次項の「タイマー設定のしかた」でより詳しく説明します

ご注意

＊1 ブラウザのJavaScriptの設定を変える方法はブラウザの種類やバージョンによって異なります。詳しくは74ページ『付録：ブラウザの設定／アクティブスクリプト（JavaScriptを有効）にする」の項目をご覧ください。

タイマー設定のしかた

プロジェクターを指定した日時に起動、終了することができます。タイマーの設定は以下の手順で行います。

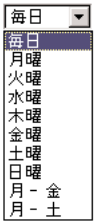


1 曜日・日付を指定する

毎週、或いは毎日決まった曜日を指定する場合には、

曜日のラジオボタンを選択し、プルダウンメニューから希望する曜日を選択します。選択できる曜日は次の通りです。

- 毎日
- 毎週（月曜日から日曜日のいずれか）
- 毎週（月曜日から金曜日）
- 毎週（月曜日から土曜日）



指定した日付を指定する場合には、

日付ラジオボタンを選択し、（年/月/日）形式で指定する日を入力します。

例：2002年8月20日を指定する場合は、「2002/08/20」と入力します

2 時間を指定する

24時間表示の（時：分）形式で指定する時間を入力します。

例：午後5時15分を指定する場合は、「17:15」と入力します

3 起動・終了を指定する

「ON」または「OFF」のプルダウンメニューから起動「ON」、終了「OFF」を選択します。

4 登録する

「設定」ボタンを押して設定したタイマーを登録します。

1～4を繰り返し、その他のタイマー設定を行います。

タイマーの確認をする

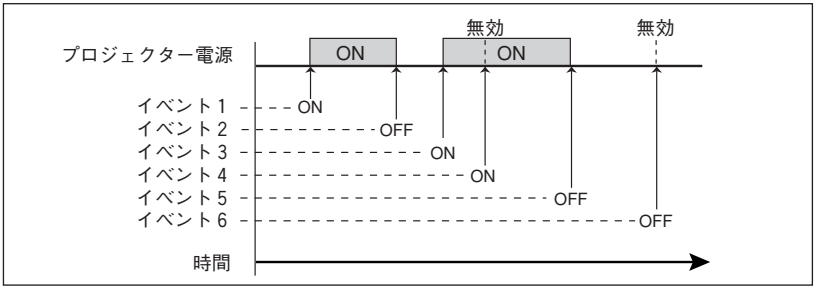
設定したタイマーイベントを確認するには、「ﾀｲﾏｰ確認」リンクテキストをクリックします。

現在時間の取得

現在時間はセッティング画面を表示した時点での時間を表示します。画面表示は自動更新されませんので、時間を更新する場合には「更新」ボタンを押します。

タイマー設定上のご注意：

＊ タイマーイベントは一度に10種類設定することができます。タイマーイベントは、プロジェクターの状態に応じて、常に有効なイベントに従って機能します。
例えば、下のチャートのように、イベント 3 でプロジェクターを起動し、次のイベント 4 で、再度プロジェクターを起動するようなイベントでは、既にプロジェクターは起動していますので、イベント 4 は無効となります。同様にイベント 6 ではプロジェクターがオフしている状態で、OFFするイベントは無効となります。但し、何らかの理由でプロジェクターがオフ、またはオンしていると、これらのイベントは有効になります。

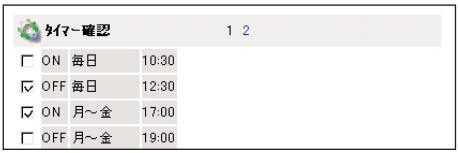


＊ タイマーイベントが同じ時刻に設定された場合では、後から設定されたイベントに上書きされます。例えば、「毎日8:00にON」に設定されたイベントがあるとき、後から「毎日8:00にOFF」の設定がされると、前のイベントは無効となります。

＊ プロジェクターがクーリング期間中にタイマー設定で「ON」のイベントが発生した場合には、このイベントは無効となります。プロジェクターはクーリング期間中にはオンできません。

タイマー設定を解除する

設定を解除する場合では、解除したいイベントのチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンを押します。

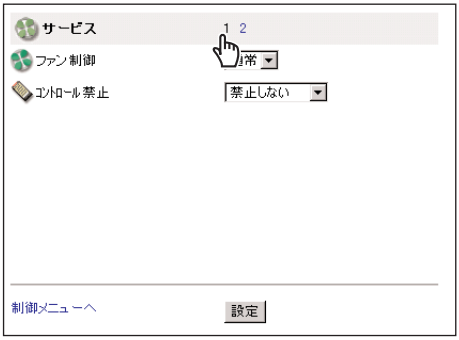


ご注意

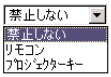
タイマーは本製品内の時計機能にて動作しています。タイマーを設定する前に、現在の日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。また、時計機能、タイマー機能は本製品に内蔵されていますリチウム電池にて機能しています。電池が切れた場合、タイマー機能・時計機能は正常に動作しません。電池の交換はお買い上げ販売店にご相談ください。電池の交換は、認定されたサービスマン以外行うことは出来ません。

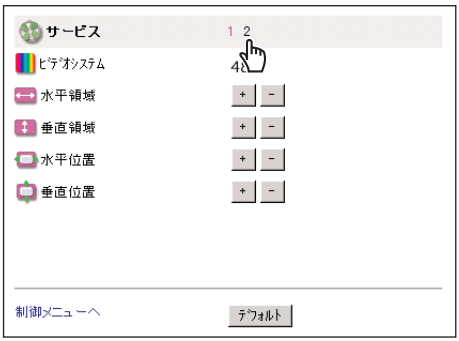
サービス

この画面では、プロジェクターのサービス項目を調整します。この項目は主にサービスメンテナンス用の項目であり、通常は初期設定のままご使用ください。



項目	説明
ファン制御	「最大」、「通常」のﾌｧﾝの回転を設定します
ｺﾝﾄﾛｰﾙ禁止	プロジェクターのコントロールを禁止します。「リモコン」または「プロジェクターキー」からのコントロールを禁止します





項目	説明
ﾋﾞﾃﾞｵｼｽﾃﾑ	現在選択しているビデオのモードを表示します
水平領域*	水平の有効画面を調整します
垂直領域*	垂直の有効画面を調整します
水平位置*	画像の水平位置を調整します
垂直位置*	画像の垂直位置を調整します

＊コンピュータ入力では表示されません。
＊工場出荷状態に戻すには、「ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」ボタンを押します。

この画面ではビデオシステムの表示を以下のように表示します。

ビデオシステム	入力信号
480I	NTSC [VIDEO], [S-VIDEO], [Y, Cb/Pb, Cr/Pr]
480P	NTSC [Y, Cb/Pb, Cr/Pr]
575I	PAL [VIDEO], [S-VIDEO], [Y, Cb/Pb, Cr/Pr]
575P	PAL [Y, Cb/Pb, Cr/Pr]
720P	[Y, Pb, Pr]
1035I	[Y, Pb, Pr]
1080I60	[Y, Pb, Pr]
1080I50	[Y, Pb, Pr]

メモ

水平・垂直振幅や位置調整はビデオモードにのみで有効です。また、これら調整値は上記ビデオシステム毎に保存されます。

保存

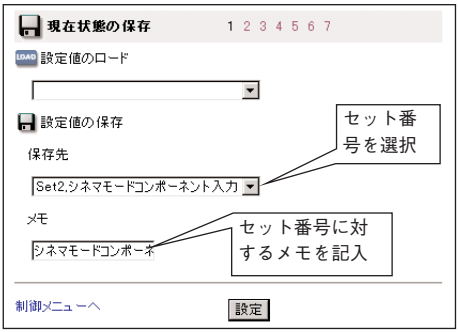
この画面では、プロジェクターの各種調整と設定を一括して保存、及び、読み出しを行います。調整・設定を保存できる項目は、入力モード、システム調整、映像調整、スクリーンの各々の項目です。

1 調整・設定する

選択した信号に応じて調整項目を最適な設定にします。（設定のしかたは、40〜48ページをご覧ください）

2 保存画面を表示する

コントロールメニューの「保存」アイコンをクリックすると、右の画面のように設定ページが表示されます。ページ番号 [2] 〜 [7] をクリックしページを切り替え、設定状態を確認します。詳細な内容は次ページをご覧ください。



3 設定に名前を付ける

「設定値の保存 - 保存先」のプルダウンメニューから希望する保存セット番号（set1 〜 set10）を選択します。
メモ欄には保存するセットの名前をメモとして記入します。

4 セットを保存する

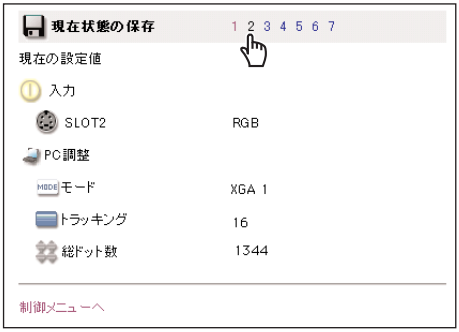
「設定」ボタンを押して、選択した保存セット番号に設定値を保存します。

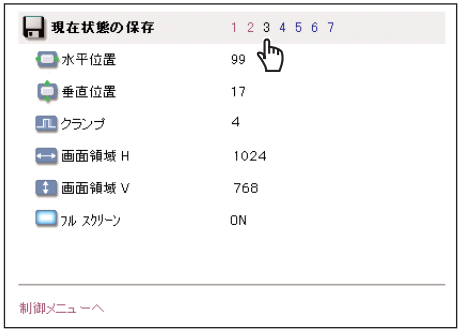
メモ

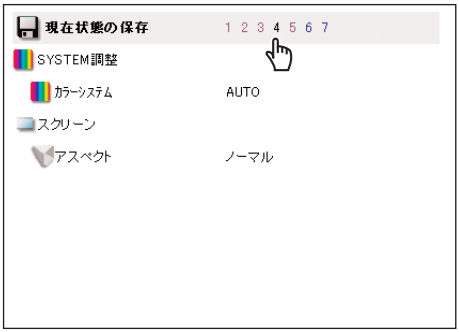
- 設定値を保存できるセットは「set 1〜set 10」までの10個です。

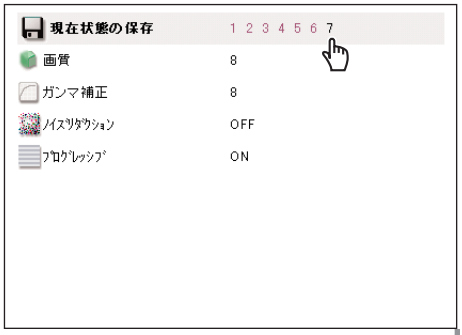
保存項目の確認

保存する項目の状態確認は、ページ番号 [2] ～ [7] のリンクテキストをクリックしてページを切り替えて確認します。保存項目は以下のように表示されますが、入力信号やプロジェクターの機能によって表示内容は変わります。



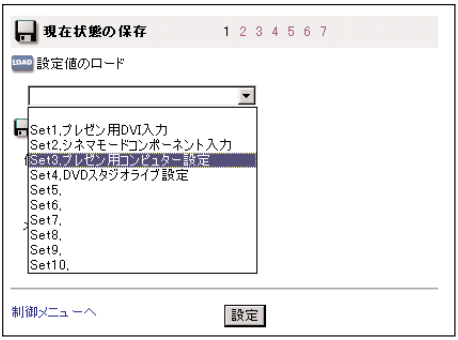






既に設定したセットを読み出す時には

「設定値のロード」のプルダウンメニューから呼び出したいセット番号を選択し、「設定」ボタンを押します。選択したセット番号の設定値が現在の調整項目に適用されます。



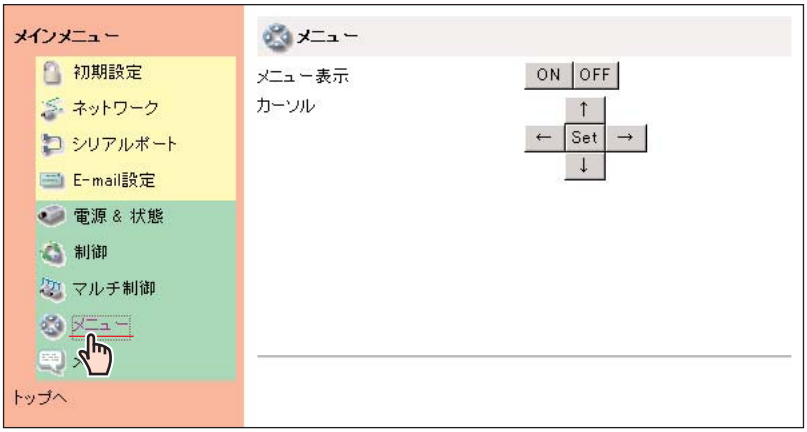
設定例の画面サンプル

ご注意

- 保存したセットの内容がプロジェクターが備えるスロットと一致しない場合には、設定無効のメッセージが表示されることがあります。例えば、以下の場合では、「SLOT1の指定が無効です」のメッセージが表示されます。
  例：Slot1にDVIのコンピュータ入力でセットを作成後、SLOT1のボードをビデオ入力用に変更した場合。

プロジェクターのメニューを操作する

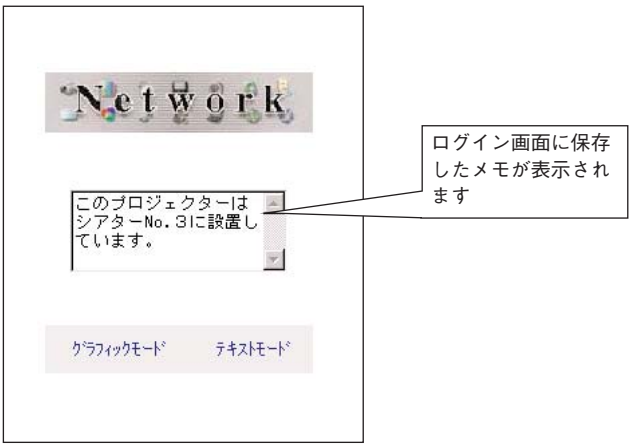
メイン設定画面のメニューより、「メニュー」項目を選択します。以下のメニュー操作画面が表示されます。これはネットワークを通じてプロジェクターのメニューを操作する画面です。



項目	説明
メニュー表示.....	「ON」、「OFF」ボタンを押し、投映画面にプロジェクターのメニューの表示の切り替えを行います。
カーソル	「←」、「→」、「↑」、「↓」ボタンを押して、カーソルを移動します。「Set」ボタンを押して、選択を確定します。

メモをつける

メイン設定画面のメニューより、「メモ」項目を選択します。以下のメモ保存画面が表示されます。ここにはプロジェクターを設置している場所等の簡単な説明を保存すると便利です。この保存したメモはログイン画面で表示されます。



4

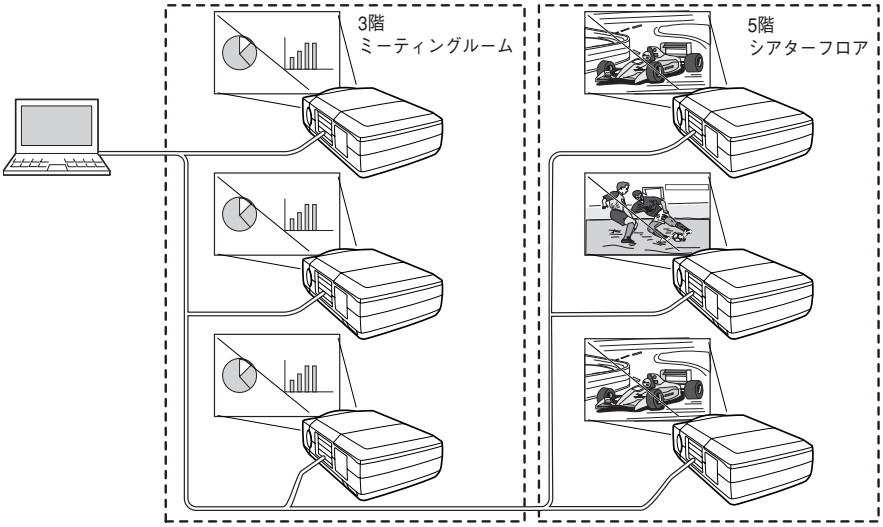
複数のプロジェクターを管理する

マルチ制御

本製品を取り付けたプロジェクターを、複数台ネットワークに接続している場合、それらのプロジェクターを一括してコントロール（電源・映像調整・日付／時刻・タイマー設定・スクリーン設定など）することができます。メイン設定画面の「マルチ制御」をクリックして設定画面を表示します。

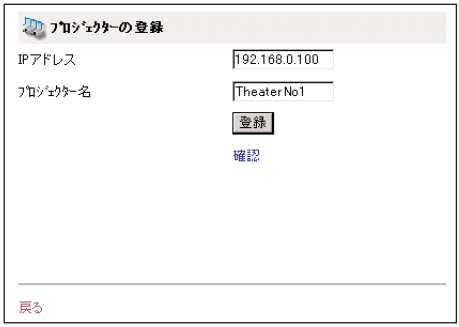
ご注意 複数のプロジェクターを管理するには、それぞれのプロジェクターには同じパスワードが設定されている必要があります。

マルチ制御使用例



IPアドレス・プロジェクター名の登録

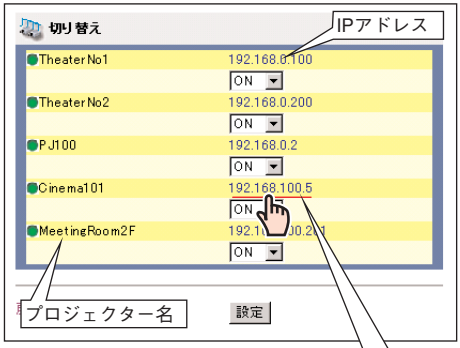
マルチ制御するプロジェクターのIPアドレスを登録します。設定画面の「登録」リンクテキストをクリックし、登録ページを表示します。IPアドレスとプロジェクター名を入力し、「登録」ボタンを押します。



IPアドレス・プロジェクター名の確認

登録されているプロジェクターを確認するには「確認・変更」リンクテキストをクリックします。右のように登録されているプロジェクターの情報がリストされます。

＊プロジェクター名を使用しない場合には、「未設定」が表示されます。



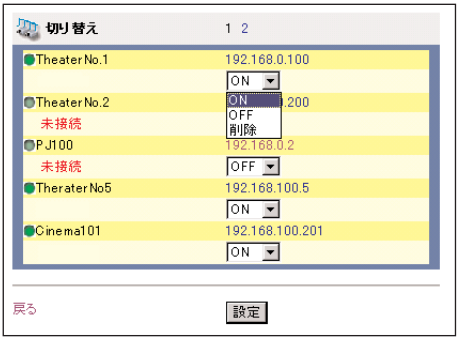
リストされるIPアドレスをクリックすると、新しいウインドウが表示され、選択したプロジェクターのログイン画面が表示されます。同様に、このプロジェクターのパスワードを入力し、ログインします。

ご注意

- マルチ制御するプロジェクターは100 台まで登録できます。
- 通常、プロジェクターはIPアドレスでネットワーク内で認識されます。本製品では、IPアドレスの代わりに、ニックネームをプロジェクターに付けることができます。建物名や会議室名をニックネームとしてプロジェクター名に登録することで、簡単に認識、管理することが可能です。また、このニックネームはDNSサーバーに登録したホスト名を使用することをお勧めします。詳細につきましてはネットワーク管理者にご相談ください。

マルチ制御の対象から除外・追加・削除する

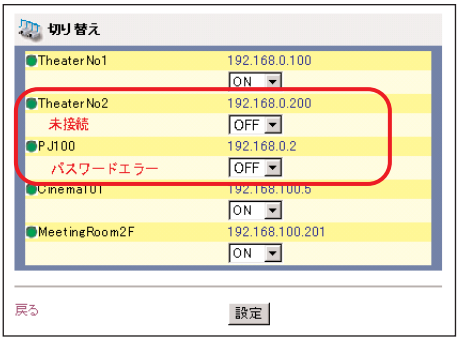
マルチ制御の対象のモードを変更する場合には、対象のプロジェクターの IP アドレス下のプルダウンメニューからモードを選択した後、「設定」ボタンを押します。



モード　：動作
OFF　：対象から除外
ON　：対象にする
削除　：リストから削除する

状態表示

もし登録しているプロジェクターの何台かが何らかの理由でアクティブでない場合には（プロジェクターに電源が接続されていない、LANケーブルが接続されていない、ネットワークから切り離されているなど）、アクティブなプロジェクターのみに設定の変更が有効になります。同時に、マルチ制御に設定されたリストからはそのプロジェクターは除外され、それぞれの状態が表示されます。状態については以下の表をご覧ください。



状態表示	説明
（ブランク）.....	正常に接続されています
未接続	ネットワークに接続されていません。当該プロジェクターの接続を確認してください
パスワードエラー	マルチコントロールするプロジェクターのログインパスワードが現在アクセスしているプロジェクターと異なります。当該プロジェクターのパスワードを変更してください

ご注意

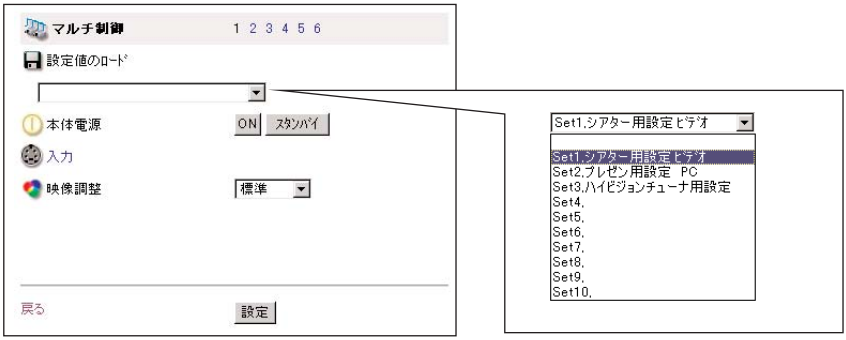
- マルチ制御の対象となるプロジェクターがスタンバイ状態の場合、コントロール項目に対する設定の変更は無効となります。ただし、タイマー設定は有効です。
- マルチ制御する場合には、特定の 1 台のプロジェクターを設定用としてご使用することをお勧めします。プロジェクターそれぞれにマルチ制御の設定はしないでください。管理が非常に複雑になります。
- 登録したプロジェクターがネットワークに接続されていない場合には、マルチ制御の応答に時間がかかります。これは、登録されたプロジェクターの応答を待っているためです。

制御

マルチ制御画面の「制御」リンクテキストをクリックし、制御ページを表示します。
マルチ制御の設定画面は[1]~[6]ページより構成されています。各々のページは次ページに記載しています。

設定値の読み出しと適用

マルチ制御で適用される設定セットは、52ページの「制御」項目の「保存」サブメニューより設定したものです。「設定値のロード」項目のプルダウンメニューよりセット番号を選択し、「設定」ボタンを押します。各々のプロジェクターに保存されている選択したセット番号の設定値が適用されます。同一の設定値がすべてのプロジェクターに適用されるものではありません。

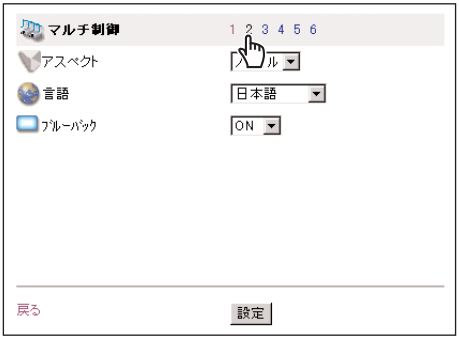


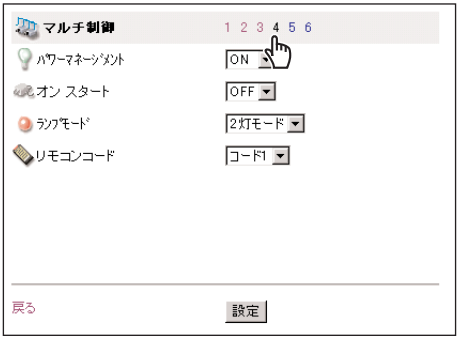
ご注意

- 複数のプロジェクターに設定値をロードする場合では、現在のプロジェクターの状態に対して、設定値が有効でなければなりません。有効でない場合には、マルチ制御は行うことができません。
  例：「Set1」 に Slot1:DVIコンピュータ入力でセットを作成している場合では、現在のプロジェクターのSlot1にビデオ入力ボードが装着されていると、この時点でロードは無効になり、その他のプロジェクターへの設定値のロードは実行されません。

複数のプロジェクターを同時にコントロールする

個々のコントロール項目は以下の通りです。設定方法や詳細な説明は37ページからの「プロジェクターを管理する」の項目を参照してください。それぞれの項目の設定ボタンを押すと、マルチコントロールの対象として登録されているすべてのプロジェクターは、同時にコントロールされます。**＊これら項目は選択している信号、或いは、ご使用のプロジェクターの機能によって変わります。**





5

シリアルポートを使用する

本製品はシリアル通信端子(RS-232C)を備えています。この端子にシリアル通信端子を持つ外部機器を接続することで、ネットワークを介して接続した機器のコントロール、及び、シリアル通信機器を使用してプロジェクターのコントロールを行うことができます。外部機器との通信をする前に、以下の「シリアルポートの設定」を行ってください。

シリアルポートの設定を行う

ここでは、本製品の外部シリアルポートの設定を行います。メイン設定メニューの「シリアルポート」リンクテキストをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。
接続した外部機器との通信を正常に行うには、接続した機器のシリアルポートの設定と同じである必要があります。設定値を決定後、「設定」ボタンを押します*1。

項目	説明
スピード	シリアル通信の通信スピードです。プルダウンメニューから選択します
パリティ	パリティチェック、データの誤りを検出する方式です
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ	通信の終了を表すビットです
ﾊｰﾄﾞｳｪｱﾌﾛｰ	通信フローの方式です
データ長	1データの長さを選択します
シリアル制御	コントロールする機器を選択します
外部機器	シリアルポートに接続された外部機器をネットワーク経由でコントロールする場合に選択します
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ	シリアルポートに接続したシリアルコントローラを使用してプロジェクターをコントロールする場合に選択します
ポート番号	TCP/IPのポート番号を指定します。初期値では23です。ご使用するアプリケーションが使用するポートと同じ番号を指定します。また、このポート番号には予約されているポート番号*2があります。もし、これらの予約ポート番号を指定した場合では、無効なポート番号として警告ダイアログが画面に表示されます

シリアルポートに接続した外部機器をコンピュータからコントロールする場合の設定

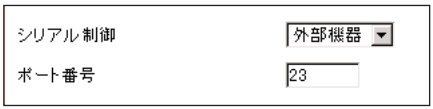
シリアル制御　：「外部機器」を選択する
ポート番号　　：コンピュータのセッティングに合わせる。10000番は使用しない*2
その他の設定　：外部機器の通信条件に合わせる

シリアルポートに接続したシリアルコントローラからプロジェクターをコントロールする場合の設定

シリアル制御　：「ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ」を選択する
ポート番号　　：指定無し。但し、10000番は使用しない*2
その他の設定　：シリアルコントローラの通信条件に合わせる

LANポートを使用してコンピュータからプロジェクターをコントロールする場合の設定

シリアル制御　：「外部機器／ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ」どちらでもよい
ポート番号　　：指定無し
その他の設定　：指定無し



＊ コンピュータ側のポート番号は常に10000番を使用してプロジェクターにアクセスします。

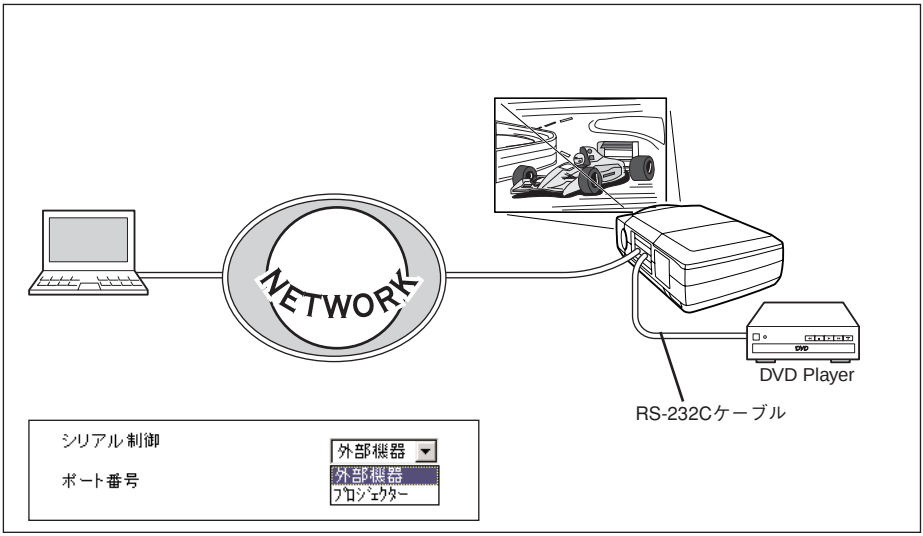
ご注意

＊1 「ポート番号」、「シリアル制御」を変更した場合、本製品は自動的にログアウトし、再起動を行います。
＊2 ポート番号にはプロトコル毎にhttp(80), ftp(21), telnet(23)等が予約されいます。 10000 番はプロジェクターをコントロールする場合に使用するように予約されています。
- RS-232Cシリアルケーブルはノーマルタイプとリバースタイプの 2 種類あります。通常、本製品とコンピュータ、またはプロジェクターを接続する場合は、リバースタイプを使用します。DVDプレーヤなどの周辺機器を使用する場合には、ノーマルタイプを使用します。
- コンピュータでコントロールするには、専用のドライバーソフトが必要です。本製品にはこのドライバーソフトは付属していません。お買い上げ販売店にご相談ください。

コントロール例

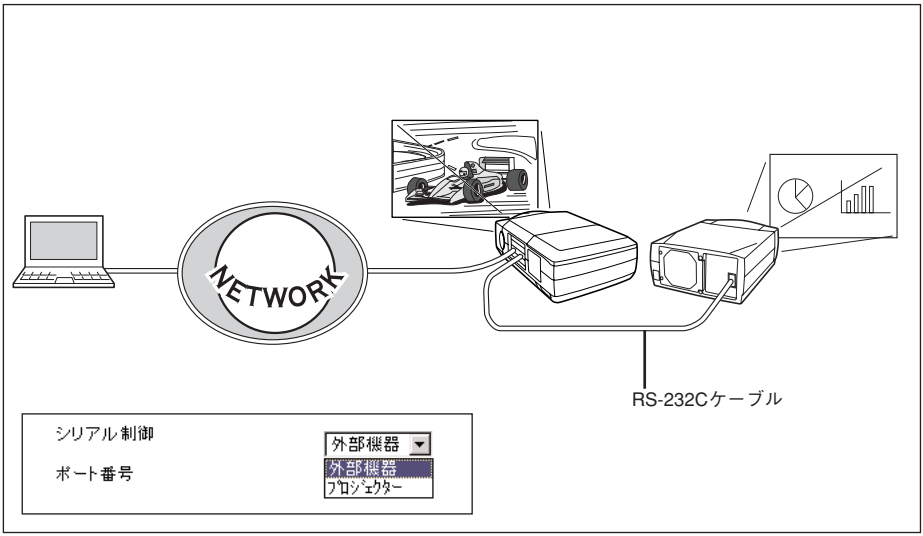
コントロール例 1

AV機器をネットワークを介してコントロールする。



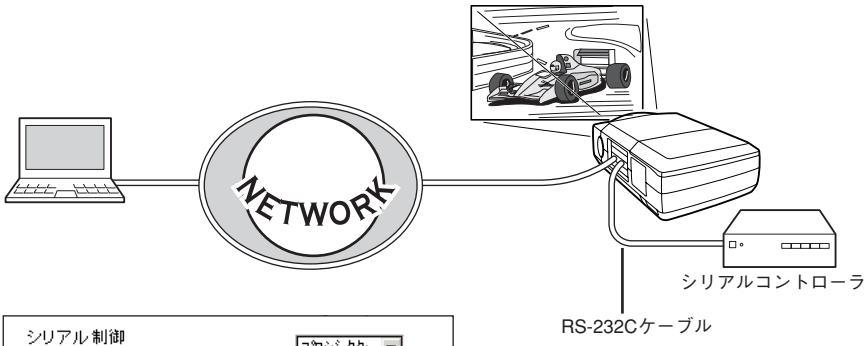
コントロール例 2

ネットワーク非対応のプロジェクターをネットワークを介してコントロールする。

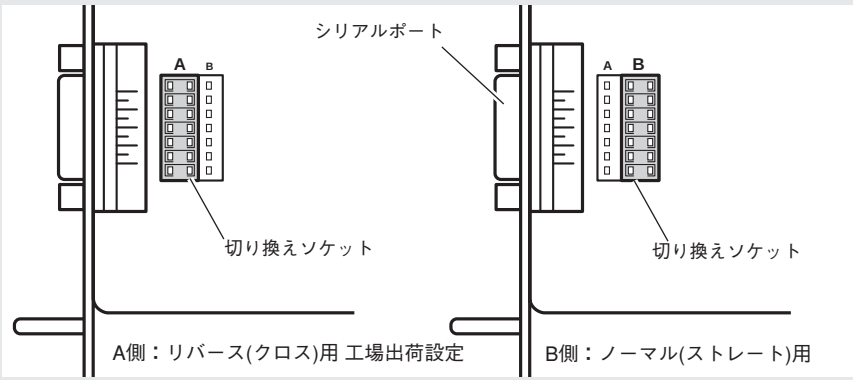


コントロール例 3

シリアルポート (RS-232C) を介して、シリアルコントローラでプロジェクターをコントロールする。



本製品と周辺機器を接続する場合には、シリアルケーブルの種類にご注意ください。本製品のシリアルポートの極性は工場出荷時では、リバース（クロス）用に設定されています。周辺機器を接続する場合には、接続する機器のポートの極性に応じて適切なシリアルケーブルをご使用ください。また、本製品はシリアルポートの極性を切り換えるソケットを備えています。以下のようにネットワークボード上のソケットを切り換えることで、シリアルポートの極性をノーマル（ストレート）用、または、リバース（クロス）用に切り換えることが可能です。これにより、両方の種類のケーブルをご使用することができます。詳細なピン配置は84ページのポート仕様をご覧ください。



TELNETを使う

コンピュータのTELNET*1アプリケーションソフトを使用して本製品の外部シリアルポートに接続した機器のコントロール、及び、プロジェクター自身をコントロールすることが可能です。以下の例では、TELNETを使用してコントロールする例を説明します。TELNET アプリケーションは、外部機器をコントロールするためのコマンド*2を使用するために必要となります。Windowsでは標準で付属しています。

準備

1 プロジェクターの主電源を切り、シリアルポートに外部機器を接続します。
2 プロジェクターと外部機器の電源を入れます。
3 Web ブラウザを使用し、シリアルポート設定画面を表示します。（64ページ参照）
4 シリアルポートの通信設定を接続した外部機器の通信条件と同じ設定に変更し、「設定」ボタンを押します。（64ページ参照）

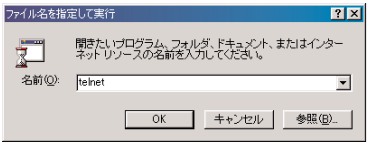
ここでは当社プロジェクターをシリアルポートに接続し、このプロジェクターを操作する例を説明します。以下のように設定します。

スピード	19200
パリティ	なし
ストップビット	1
ハードウェアフロー	なし
データ長	8
シリアル制御	外部機器
ポート番号	23

コントロールする

（Windows 98のTelnetを使用した場合を例に説明します）

1 コンピュータの「スタート」メニューから「アプリケーションを指定して実行」を選択します。表示されたウインドウの名前に「telnet」と入力し、「OK」ボタンを押します。



2 telnet アプリケーションが起動し、以下のウインドウが表示されます。メニューより、「接続」-「リモートシステム」を選択します。

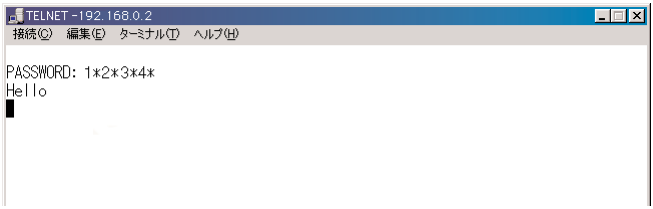
ご注意

*1 TELNET アプリケーションについての詳細な使用方法につきましては、コンピュータのオンラインガイドなどをご覧ください。
*2コマンドは接続する機器独自に定義されています、詳細な情報につきましては、ご使用の機器のメーカーへお問い合わせください。

3 以下のウインドウが表示されます。以下の例のように入力し、「接続」ボタンを押します。

ホスト名：192.168.0.2
（プロジェクターのIPアドレスを入力します）
ポート：telnet または 23
ターミナルの種類：vt100

4 正常に通信が確立すると、以下のウインドウに「PASSWORD:」が表示されるので、プロジェクターに設定したログインパスワード*1を入力し、「Enter」キーを押します。プロジェクターにパスワードを設定していない場合には、そのまま「Enter」キーを押します。
ログインが成功すると、ウインドウに「Hello」が表示されます。



＊パスワード「1234」を入力した例

5 外部機器をコントロールするコマンドをキーボードより入力し「Enter」キーを押します。ここではプロジェクターの電源を入れるコマンド*2「C00」をタイプし、「Enter」キーを押します。
- シリアルポートに接続されたプロジェクターの電源が入ります。

接続を切断するには、メニューより「接続」-「切断」を選択します。TELNET アプリケーションの終了はメニューより「接続」-「TELNETの終了」を選択します。

ご注意

＊1 パスワードは19ページまたは32ページで設定したパスワードです。入力したパスワードの認証が4回連続して失敗すると、接続が切断されます。再度接続をやり直してください。
＊2 コマンド「C00」は弊社プロジェクターでは「電源を入れる」に定義されたコマンドです。

TELNET でプロジェクターをコントロールする

本製品はTelnet アプリケーションを使用して、プロジェクターをコントロールすることができます。通常はシリアル接続した外部機器をTelnet を使用してコントロールできますが、Telnet ポート 10000番を使用することで、プロジェクター自身をコントロールすることが可能になります。

＊Telnetを使用する場合ではプロジェクターのシリアルポート設定には依存しません。

コンピュータでの設定では、前ページのコントロール例の手順3で、以下のようにポート番号 10000 を指定します。

ホスト名：192.168.0.2
（プロジェクターのIPアドレスを入力します）
ポート：10000
ターミナルの種類：vt100

通信が確立したら、同様にパスワードを入力し、プロジェクターをコントロールするコマンドをタイプし「Enter」キーを押します。
本製品が対応するプロジェクターのコマンドの一例を以下のように記載します。その他のコマンドにつきましては、お買い上げ販売店にご相談ください。

コマンド	機能
C00	電源オン
C01	電源オフ
C05	SLOT1
C06	SLOT2
C07	SLOT3
C08	SLOT4 *
C09	音量アップ
C0A	音量ダウン
C0B	ミュートオン
C0C	ミュートオフ
C0D	ビデオミュートオン
C0E	ビデオミュートオフ
C1C	メニュー表示
C1D	メニュー非表示

* 4スロットモデルのみ

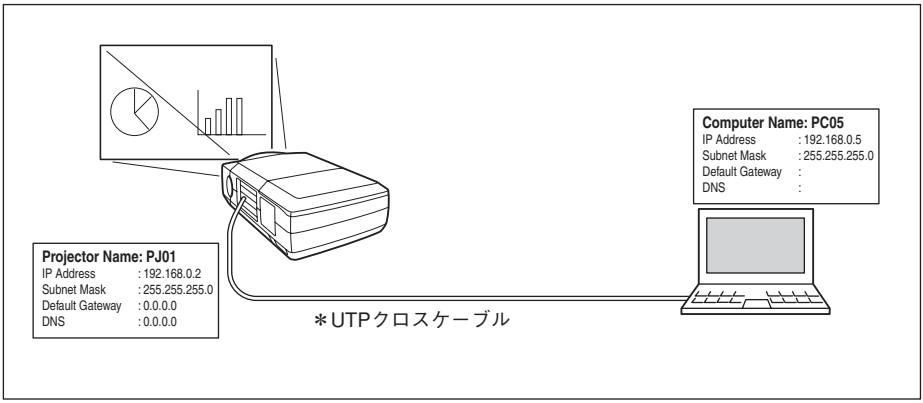
6

付録

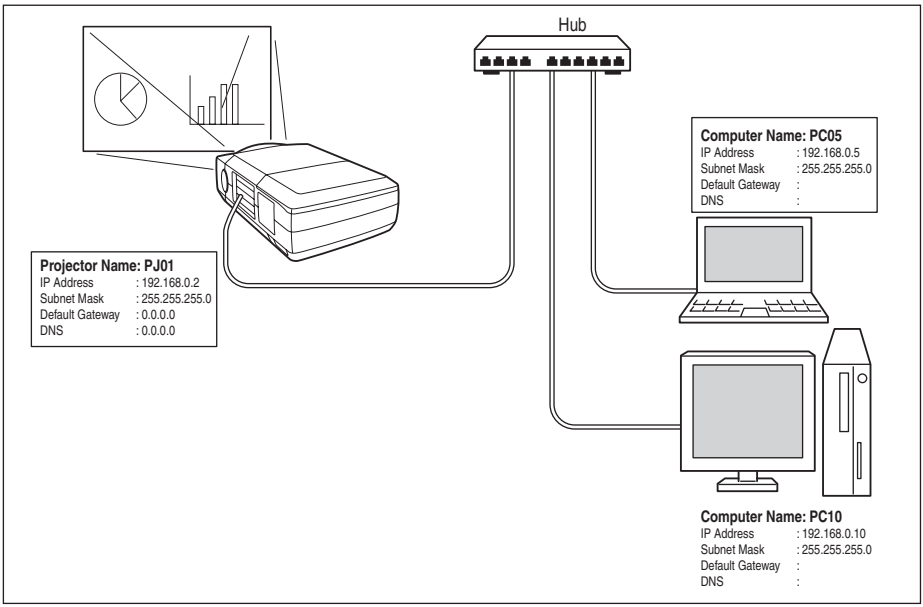
接続例

ピア・ツー・ピア接続

プロジェクター（PJ01）と操作用コンピュータ（PC05）を直接接続する。



プロジェクター（PJ01）と操作用コンピュータ（PC05）をハブを介して接続する。

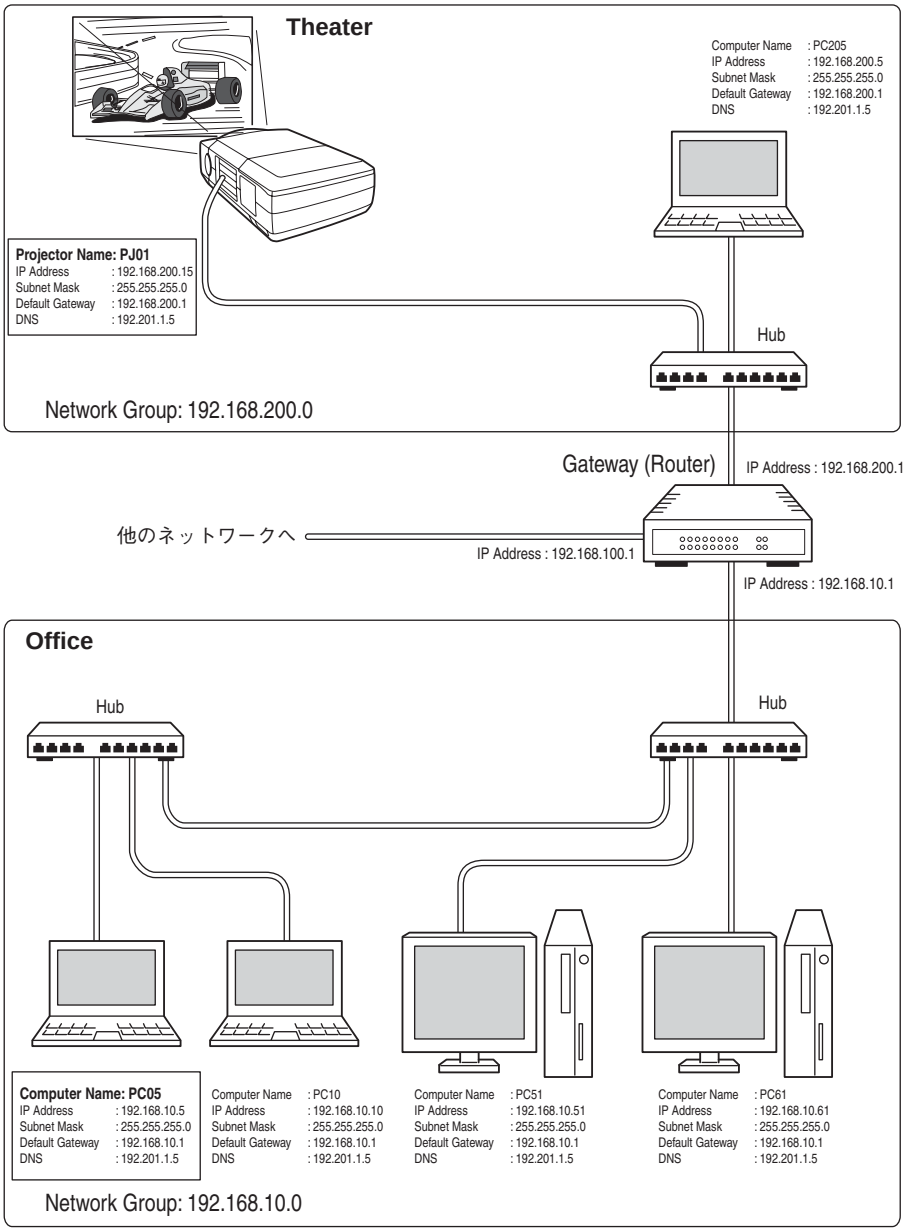


ご注意

- ハブを使用しないで直接プロジェクターとコンピュータを接続する場合には、UTPクロスケーブルを使用します。それ以外ではUTPストレートケーブルを使用します。

ゲートウェイ（ルータ）を含む接続例

プロジェクター（PJ01）と操作用コンピュータ（PC05）をゲートウェイを介して接続する。

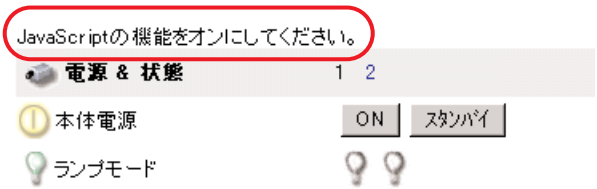


Web ブラウザの設定

本製品はWebブラウザを使用して各種プロジェクターの設定を行えるように設計されています。Webブラウザの設定状態によっては、機能を十分利用できない項目もあります。以下2点の設定がWeb ブラウザに設定されていることを確認してください。

アクティブスクリプト/JavaScript を有効にする

本製品の設定ページには、WebブラウザのJavaScript機能を利用している項目があります。もし、この機能を使用しない設定になっている場合、正常にコントロールを行えない場合があります。この場合画面上に以下のようなメッセージを表示してお知らせします。JavaScriptを有効にする方法は、次ページ以降の設定手順をご覧ください。



プロキシの設定

ご使用のWebブラウザによっては、インターネット／イントラネット接続にプロキシサーバーを介して接続するように設定されている場合があります、このような場合で、ローカルネットワーク内に本製品を設置した場合には、プロキシサーバーの設定を適切に行う必要があります。特に、クロスケーブルを使用して本製品とコンピュータを直接接続する場合や、プロキシサーバーを使用しないネットワーク環境では、「プロキシサーバーを使用しない」に設定されていることをご確認ください。次ページ以降の設定手順を参照ください。

ご注意

- これらの設定手順は Web ブラウザの種類、バージョン、 Windows や Macintoshなどの OS によってそれぞれ異なります。次ページにはWindows/Macintoshでの設定例を記載しますが、これ以外のブラウザやOSについては、それぞれのWebブラウザのヘルプをご覧ください。

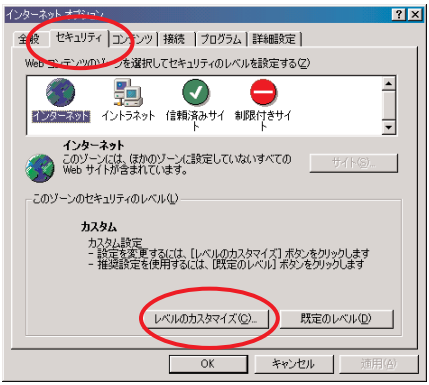
OS/ブラウザ個別設定例

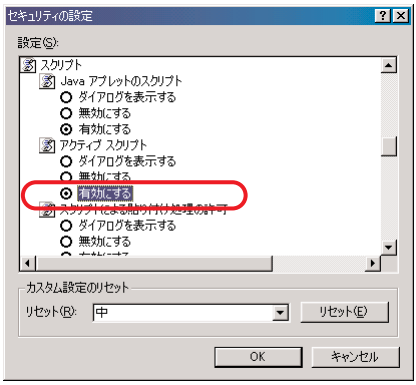
Windows 95/98 の場合

Internet Explorer v.5.5 の場合

アクティブスクリプトの設定

Web ブラウザのメニューより、ツール/ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｵﾌﾟｼｮﾝ/セキュリティ/レベルのカスタマイズボタンを選択します。以下のウインドウのリストよりスクリプト/アクティブスクリプト項目の「有効にする」のラジオボタンが選択されていることを確認します。





プロキシの設定

Web ブラウザのメニューより、ツール/ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｵﾌﾟｼｮﾝ/接続タブ/LANの設定ボタン押します。以下のローカルエリアネットワーク（LAN）の設定ウインドウより、使用するプロキシサーバーの設定をプロジェクターを設置したネットワーク環境に応じて適切に設定してください。

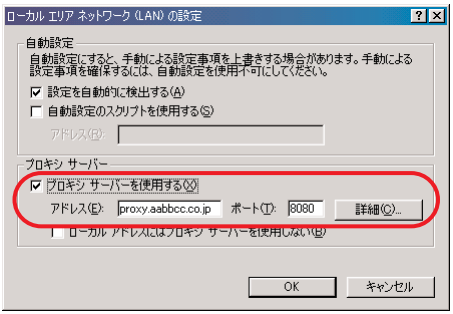
- プロキシサーバを利用する場合

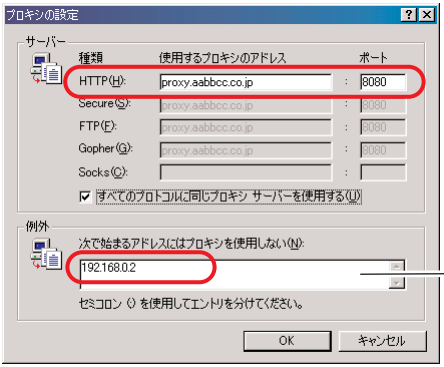
外部インターネット接続を利用する場合では、「プロキシサーバーを利用する」にチェックを入れプロキシサーバーのアドレス／ポートを設定します。詳細な設定方法につきましては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- プロキシサーバを利用しない場合

（プロジェクターとコンピュータを直接クロスケーブルで接続して使用する場合）

「プロキシサーバーを利用する」のチェックボックスのチェックを外します。チェックを入れたままではプロジェクターにアクセスできません。



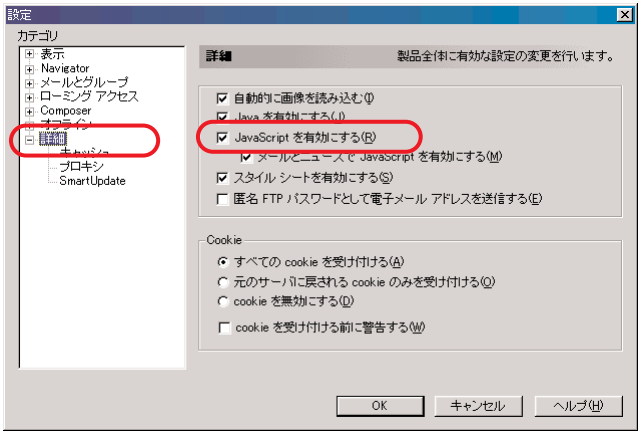


ローカルネットワークに設置されたプロジェクターにアクセスする場合のみ、プロキシサーバを介さないように設定するには、ここにそのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

Netscape Navigator v.4.7の場合

JavaScriptの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/設定を選択し、カテゴリ欄の「詳細」を選択します。以下のウインドウより「JavaScriptを有効にする」のチェックボックスにチェックが入っているとを確認します。



プロキシの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/設定を選択し、カテゴリ欄の「詳細/プロキシ」を選択します。プロキシ設定ウインドウより、使用するプロキシサーバーの設定をプロジェクターを設置したネットワーク環境に応じて適切に設定してください。

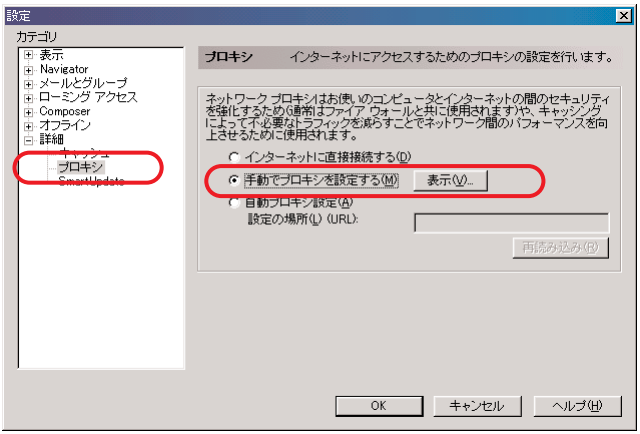
- プロキシサーバを利用する場合

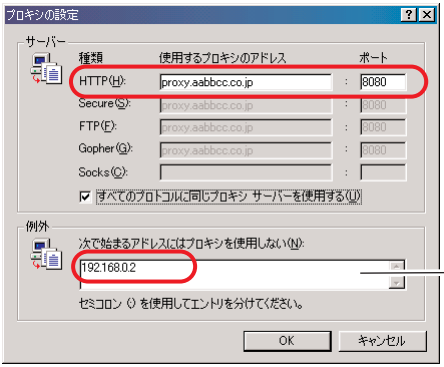
外部インターネット接続を利用する場合では、「手動でプロキシを設定する」を選択し、「表示」ボタンを押します。表示されるプロキシ設定ウインドウのHTTP項目にプロキシサーバーのアドレス及びポートを設定します。詳細な設定方法につきましては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- プロキシサーバを利用しない場合

（プロジェクターとコンピュータを直接クロスケーブルで接続して使用する場合）

「インターネットに直接接続する」項目を選択します。「手動でプロキシを設定する」の項目を選択している場合では、プロジェクターにアクセスできません。





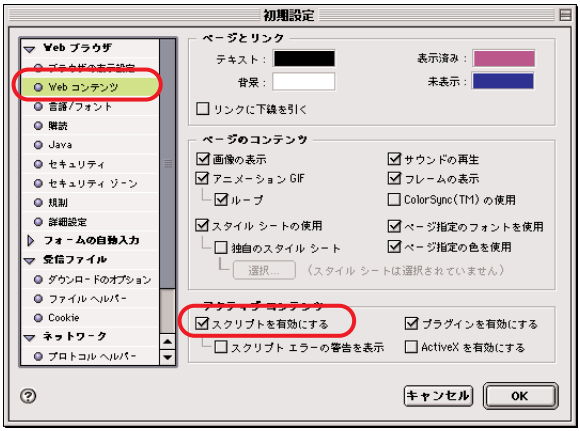
ローカルネットワークに設置されたプロジェクターにアクセスする場合のみ、プロキシサーバを介さないように設定するには、ここにそのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

Mac OS 9.2 の場合

Internet Explorer v.5.0 の場合

アクティブスクリプトの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/初期設定を選択します。以下のウインドウのリストより、「Web ブラウザ/ Web コンテンツ」項目を選択し、アクティブコンテンツ項目の「スクリプトを有効にする」にチェックが入っていることを確認します。



プロキシの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/初期設定を選択します。以下のウインドウのリストより、「ネットワーク/ プロキシ」項目を選択し、使用するプロキシサーバー項目の設定をプロジェクターを設置したネットワーク環境に応じて適切に設定してください。

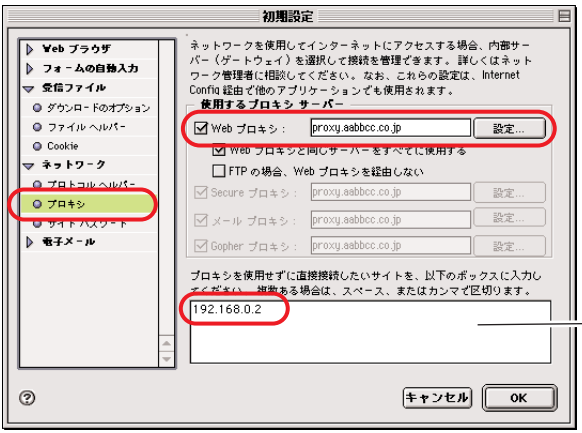
- プロキシサーバーを利用する場合

「Web プロキシ」にチェックを入れプロキシサーバーのアドレスを設定してください。詳細な設定方法につきましては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

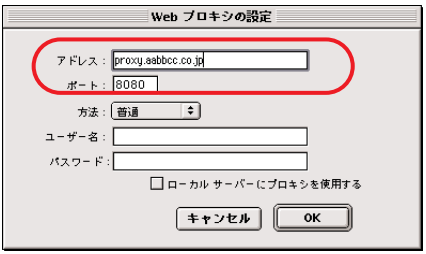
- プロキシサーバーを利用しない場合

（プロジェクターとコンピュータをクロスケーブルで接続して使用する場合）

「Web プロキシ」のチェックボックスのチェックを外します。チェックを入れたままではプロジェクターにアクセスできません。



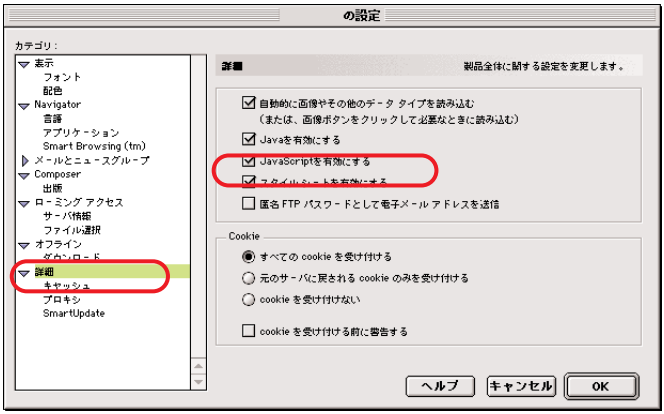
＊ローカルネットワークに設置されたプロジェクターにアクセスする場合のみ、プロキシサーバを介さないように設定するには、ここにそのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。



Netscape Navigator v.4.7 の場合

JavaScriptの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/設定を選択し、カテゴリ欄の「詳細」を選択します。以下のウインドウより「JavaScriptを有効にする」のチェックボックスにチェックが入っているとを確認します。



プロキシの設定

Web ブラウザのメニューより、編集/設定を選択し、カテゴリ欄の「詳細プロキシ」項目を選択します。以下のウインドウのリストより、プロジェクターを設置したネットワーク環境に応じてプロキシサーバーの設定を適切に行ってください。

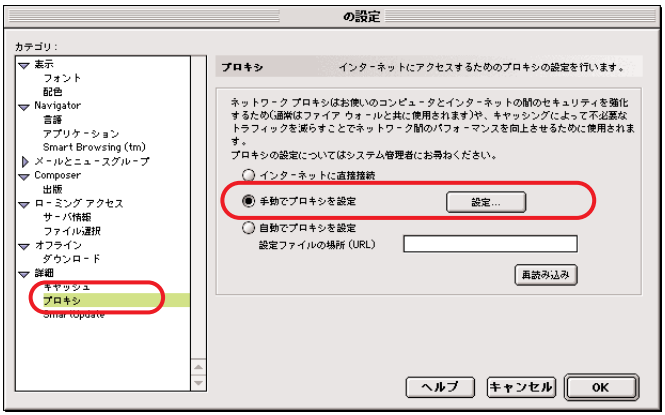
- プロキシサーバーを利用する場合

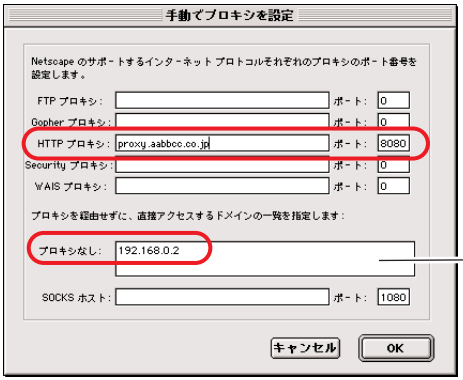
外部インターネット接続を利用する場合では、「手動でプロキシを設定」を選択し、「設定」ボタンを押します。表示されるプロキシ設定ウインドウのHTTP項目にプロキシサーバーのアドレス及びポートを設定します。詳細な設定方法につきましては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- プロキシサーバーを利用しない場合

（プロジェクターとコンピュータを直接クロスケーブルで接続して使用する場合）

「インターネットに直接接続する」項目を選択します。「手動でプロキシを設定する」の項目を選択している場合では、プロジェクターにアクセスできません。





＊ローカルネットワークに設置されたプロジェクターにアクセスする場合のみ、プロキシサーバを介さないように設定するには、ここにそのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

製品仕様

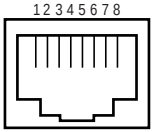
種類	ネットワークボード	
LANインターフェース部	準拠規格	IEEE802.3 (10Base-T)
		IEEE802.3u (100Base-TX)
	データ転送速度	10Mbps/100Mbps
	データ転送モード	半 2 重／全 2 重
	コネクタ形状	8 ピンモジュラ（RJ-45）
ネットワークプロトコル	TCP/IP 仕様	TCP/IP
シリアルインターフェース部	インターフェース	RS-232C
	通信速度	0.3/1.2/2.4/4.8/9.6/19.2/28.8/57.6/115.2 Kbps
	フロー制御方式	ハードウェアフロー制御（RTS/CTS, Xon/Xoff）
	パリティチェック	奇数／偶数
	コネクタ形状	Dsub 9ピン　　オス
電源	プロジェクターより供給	
消費電力	3.0 W	
本体寸法	幅137 x 高さ30 x 奥行き100 mm（突起部含まず）	
質量	155 g	
内蔵バッテリ	リチウム電池、型名 CR2032 , 3.0V	
動作温度	5℃ ～ 35 ℃	
保管温度	-10℃ ～ 60℃	

＊ 本製品の仕様は性能改善のため、予告なく変更することがあります。

ポート仕様

LAN ポート仕様

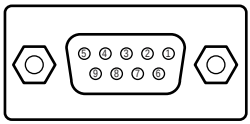
コネクタ形状（RJ-45型 8 ピンコネクタ）



ピン番号	信号名	信号機能
1	TX+	送信データ（十）
2	TX-	送信データ（一）
3	RD+	受信データ（十）
4	（未使用）	
5	（未使用）	
6	RD-	受信データ（一）
7	（未使用）	
8	（未使用）	

シリアルポート仕様

コネクタ形状（RS-232C型 9 ピンコネクタ オス）



＊ネットワークボード上の切り換えソケットで以下のようにシリアルポートの極性を切り換えることが可能です。詳細は67ページを参照ください。工場出荷時はA側にセットされています。

ピン番号 切換ソケット	信号名	
	A側	B側
1	CD	-
2	RXD	TXD
3	TXD	RXD
4	DTR	-
5	アース	アース
6	DSR	-
7	RTS	-
8	CTS	-
9	-	-

・信号名の説明

信号機能	
CD	キャリア検出
RXD	受信データ
TXD	送信データ
DTR	データ端末レディ
DSR	データセットレディ
RTS	送信要求
CTS	送信可能
-	未使用

FAQ

設置／アクセス

Q コンピュータでWeb設定画面が表示されない

A 以下の可能性があります。

1．ネットワークにプロジェクターが接続されていない。
本製品のインジケータを確認してください。(☞ 13ページ)
・LINKインジケータ（燈）が点灯していない場合は、LANケーブルの接続を確認してください。
・ACTインジケータ（緑）が点滅していない場合は、ネットワークアドレスの設定が間違えている可能性があります。

2. プロジェクター本体の ネットワーク の機能が「オン」になっていない。
プロジェクター本体の設定メニューで設定します。(☞ 16/18ページ)

3. プロジェクターのネットワーク設定が間違えている。
プロジェクターのネットワーク設定を確認してください。確認の方法は、プロジェクターを起動し、メニュー項目から「ネットワーク」メニューを選択します。(☞ 16/18ページ)

4. コンピュータのネットワーク設定が間違えている。
コンピュータのIPアドレスを確認ください。確認の方法は本章の「コンピュータのネットワークを設定する」を参照ください。(☞ 22ページ)

5. 本製品のIPアドレスが初期設定のままになっている。(☞ 16ページ)

6. Webブラウザのプロキシ設定が適切でない(☞ 74ページ)

7. パソコンにTCP/IPプロトコルがセットアップされていない。

Q コンピュータでWeb設定画面が表示されない。 原因がネットワークにあるのか、ネットワークボード にあるのかを確認したい

A 以下の手順によって確認してください。

1．まず、プロジェクターをネットワークから切り離し、コンピュータとプロジェクターをUTPクロスケーブルで接続します。

2．ネットワークボードとコンピュータのネットワーク設定を、例えば以下のように変更します。

（ネットワークボードの設定）		（コンピュータの設定）	
IP アドレス	: 192.168.0.2	IP アドレス	: 192.168.0.5
サブネットマスク	: 255.255.255.0	サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 0.0.0.0	デフォルトゲートウェイ	:（空欄）
DNS	: 0.0.0.0	DNS	:（空欄）

3．Webブラウザを使用し、アドレス欄にプロジェクターのIPアドレスを入力します。（注意）ご使用のWebブラウザにプロキシの設定がされている場合には、プロキシサーバーを使用しないように設定を変更します。（詳細は74ページの「Webブラウザの設定」をご覧ください。
4．ログイン画面が表示される場合には、本製品は正常に機能しています。コンピュータ、または、プロジェクターのネットワークの設定が間違えている可能性があります。17ページの「ネットワークの設定」に従って再度設定をご確認ください。
もし、ログイン画面が表示されない場合には、本製品の取り付けが適切でない可能性があります。12から16ページの「セットアップ」に従って、取り付けをご確認ください。

Q **プロジェクターにアクセスできるコンピュータを制限したい**

A
1．ログイン画面のパスワード機能を利用してアクセスを制限してください。（☞ 32ページ）
2．ゲートウェイ（ルータ）のフィルタリング機能を利用して、アクセスできるコンピュータを制限してください。詳細な方法につきましてはネットワーク管理者へご相談ください。

Q **外部から会社構内のネットワークに設置されたプロジェクターにアクセスしたい**

A 以下の方法によってアクセスできます。ただし、セキュリティの問題があるので、ネットワーク管理者に相談してください。

- **電話線による接続**
（自宅または出張先などから電話回線を通じて会社のネットワークに接続する）
- **専用線による接続**
（支店、本店などから専用線を通じて会社のネットワークに接続する）
- **インターネット接続**
（自宅、出張先、支店などからインターネットを介して会社のネットワークに接続する）

Q **IPアドレスの取得にDHCP/BOOTPサーバーを利用しています、このようなネットワーク環境でもネットワークボードを使用できますか**

A 使用できます。ただし、ネットワークボードはDHCP/BOOTPサーバーには対応していません、必ず手動にて固定IPアドレスを設定してください。（☞ 26ページ）

Q ネットワークボードを同一ネットワークに 2 台以上設置したい

A 1 台ずつネットワークに接続して、ネットワークボードのIPアドレスがぶつからないように、別々のIPアドレスを設定してください。(☞ 26ページ)
IPアドレスの設定のしかたは「ネットワークの設定」の項目を参照してください。(☞ 17ページ)

Q マルチコントロール可能なプロジェクターは何台までですか？

A 理論的には100台までコントロール可能ですが、実際の使用においては、ネットワーク環境に依存します。

パスワード／ログイン

Q パスワードを忘れてしまったら

A プロジェクター本体のメニューからセッティング／オンスクリーン表示を選択し、「SELECT」ボタンを押します。現在設定されているパスワードが表示されます。(☞ 16/19ページ)

Q Webブラウザの「お気に入り」または「ブックマーク」に設定画面を登録したい。

A 「お気に入り」または「ブックマーク」への登録はログイン画面を使用してください。特定のページを登録すると、パスワード認証が正常に行われない場合があります。

操作

Q プロジェクターをコントロールできない

A プロジェクターがスタンバイ状態では、コントロールメニューの設定項目を操作しても、設定は有効になりません。プロジェクターの操作はプロジェクターの電源が入っている必要があります。また、マルチコントロールの対象に登録した場合でも、プロジェクターがスタンバイ状態の場合には、そのプロジェクターの設定を変えることはできません。ただし、タイマー設定は有効に機能します。

Q ブラウザの画面表示に時間がかかる

A 本製品の設定画面の表示スピードはプロジェクターとコンピュータのネットワーク環境に大きく依存します。ネットワークが混み合っている環境では表示に時間がかかることがあります。ネットワーク管理者にご相談ください。また、モード選択画面で、テキストモードを選択することで、表示は早くなります。(☞ 28ページ)

Q 複数のプロジェクターをネットワークに接続しているが、個々を認識するためにIPアドレス以外の名前で管理したい

A IPアドレスにニックネームをつけて管理可能です。詳細は「複数のプロジェクターを管理する」の項目を参照ください。(☞ 58ページ)
また、DNSサーバーにプロジェクター名とIPアドレスを登録すれば、そのサーバーを参照しているどのパソコンからでも、そのニックネームでアクセス可能です。詳細はネットワーク管理者へ相談してください。(☞ 33ページ、59ページ)

Q 送信先に登録できる電子メールアドレスは何個までですか？

A 10個まで登録できます。

Q 警告メールが届かない

A E-Mail設定で登録した、メールアドレス、SMTPサーバーアドレス、が間違っていないか確認します。大規模ネットワークにおいてはセキュリティ上の理由から、構内LAN以外に設置されたSMTPサーバーを利用できないことがあります。この場合、構内に設置されたSMTPサーバーを利用ください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。（☞ 34ページ）
また、ご使用するSMTPサーバによっては認証を必要とする場合があります。本製品はこのようなSMTPサーバには対応していません。

その他

Q シリアルポートに接続した機器をコントロールするためのドライバーソフトウェアを開発したい

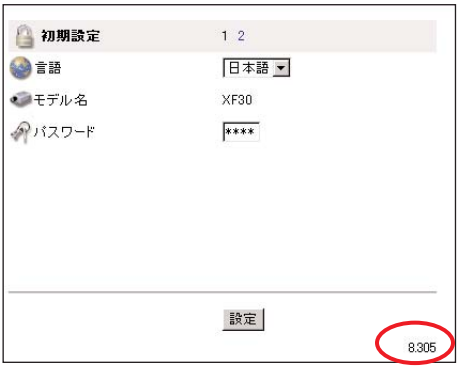
A 本製品にはドライバーソフトウェアは付属していません。外部機器をコントロールするためには、接続する機器独自に定義されたコマンドと通信条件が明確になっている必要があります。接続する機器のコマンドと通信条件が明確な場合、TELNETアプリケーションを使用してコントロールが可能です。68ページで説明しています「TELNETを使う」を参考にしてください。

Q Telnet を使用してプロジェクターをコントロールすることは可能ですか？

A 可能です。詳しくは70ページで説明しています「TELNETでプロジェクターをコントロールする」を参考にしてください。

Q ファームウエアをバージョンアップしたい

A ファームウエアのバージョンアップは可能です。但し、専用のツールが必要ですのでお買い上げ販売店にご相談ください。ファームウエアのバージョンは、「初期設定」ページの下部に表示されていますのでご確認ください。



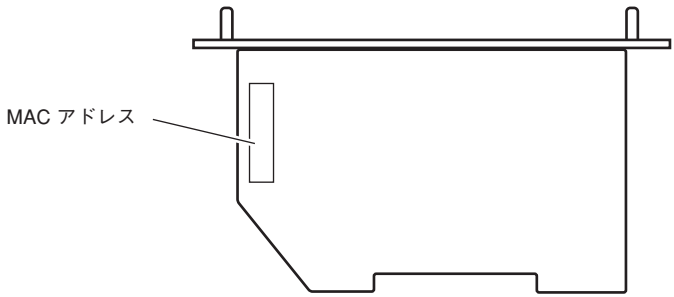
Q IPアドレスの設定方法を知りたい

A TCP/IPでネットワークを構築するときは、ネットワーク機器にIPアドレスを必ず設定します。IPアドレスをネットワーク機器に設定するときにはいくつかの規則があります。

ルール 1
IPアドレスは 1 つのネットワークで 2 つ以上の機器に設定してはいけません。必ず、固有のIPアドレスを各機器に設定します。
IPアドレスを192.168. x . x .に設定する場合にはサブネットマスクは、例えば、255.255.255.0を設定します。
ルール 2
ネットワークアドレスの開始アドレス(xxx.xxx.xxx.0)と終了アドレス(xxx.xxx.xxx.255)はネットワーク機器に割り振ってはいけません
ルール 3
IPアドレスにはネットワーク番号があり、このネットワーク番号が異なると他の機器と通信が出来ません。このような場合には通常ルータなどを設置します。

Q ネットワークボードのMACアドレスを知りたい

A 本製品のMACアドレスは基板上に貼られています。ご確認ください。



日本語

Printed in Japan
Part No.610 303 8896 (1AA6P1P3734-- IDFV)

製造元　三洋電機株式会社
Manufactured by SANYO Electric Co., Ltd.